取扱説明書

ビクター地上・BS・110度CS デジタル 液晶テレビ

型名 **LT-37LC205**
LT-32LC205

EXE
エ　グ　ゼ

究極の表現力へ。

写真はLT-37LC205です

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（8～12ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

LCT2326-001A

特長

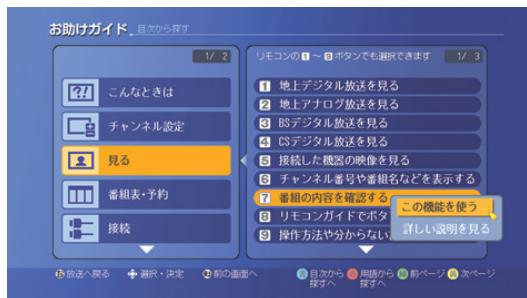
高速液晶 → 40ページ

速い動きがさらにクッキリ。

ニュース番組で流れるテロップ、アクションシーンやサッカー・野球など、動きの速い映像も残像感が目立たずクッキリした映像で楽しめます。

お助けガイド → 4ページ

操作上の不明点をすぐに解決。

操作がわからなかったらボタンひとつで解説ページを開けます。「知りたいこと」「やりたいこと」からの検索も可能。

音声案内 → 7, 24ページ

ボタンを押しまちがえたり、操作を失敗しないよう音声でやさしくアシスト。

ボタンの機能や設定方法をテレビがしゃべってお知らせします。

はっきりステレオ → 28ページ

声が聞き取りやすいから、音量は控えめに。
音量が大きく感じるCMも自然に聞こえる。

人の声に合わせて音量を調節する必要がなく、CMに変わったときに大きく感じる音量も自然に聞こえます。小さな音が聞き取りやすくなるため、臨場感が広がります。

ゆっくりトーク → 28ページ

ニュースやドラマの会話も、ゆっくり聞き取りやすいから、うれしい。

言葉の速度を調節して、会話を聞きやすくします。自然でゆっくりと聞こえる感覚が得られます。

アクトビラ → 33ページ

テレビで楽しむインターネット。

「アクトビラ」を使えば、誰でも簡単に、安心のインターネットを楽しめます。

DLNA対応 → 34ページ

つながる、広がる。

DLNA (Digital Living Network Alliance) は、家庭内LAN(ホームネットワーク)を用いてAV機器やパソコン、情報家電を相互に接続し、連携して利用するための技術です。DLNAのDMSに対応したパソコンやHDDレコーダーのデータを、本機で楽しむことができます。

もくじ

はじめる

楽しむ

知る

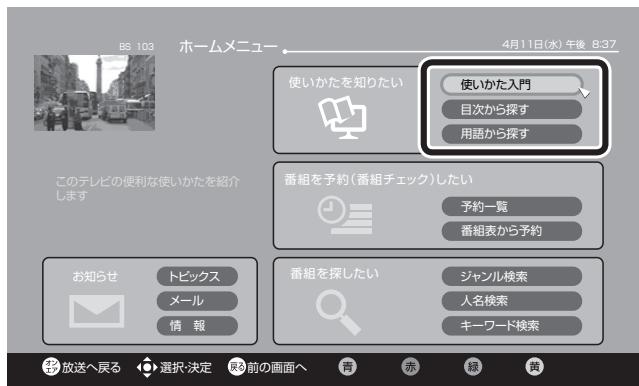
・ イラストは主にLT-37LC205のものを使用しています。

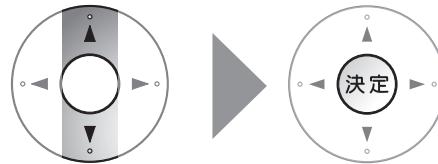
「お助けガイド」を使おう

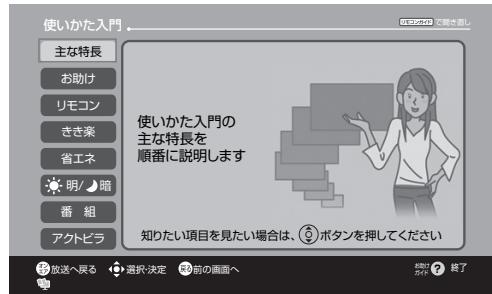
「お助けガイド」は、あなたのテレビ操作をお手伝いする機能です。

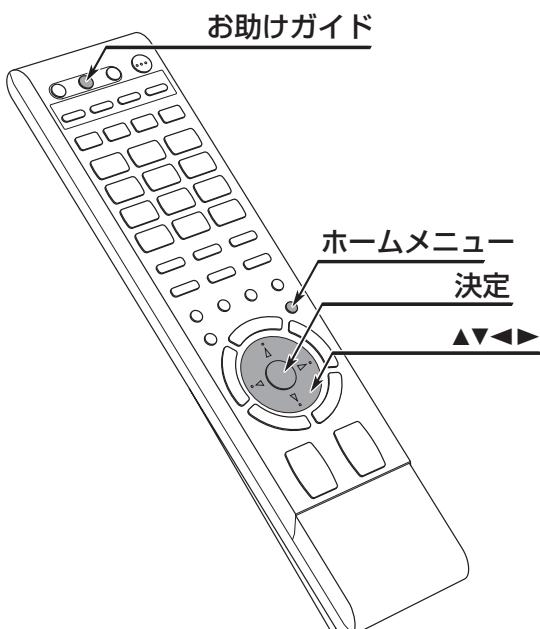
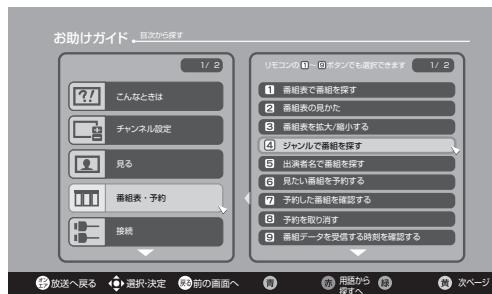
知りたいことを探す

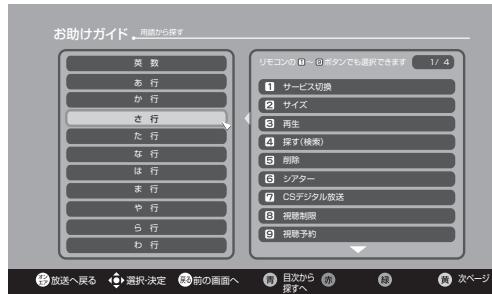
1 ホームメニュー を押す

ホームメニューが開きます。

2 調べかたを選ぶ

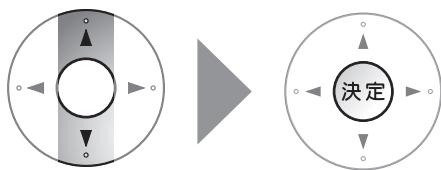
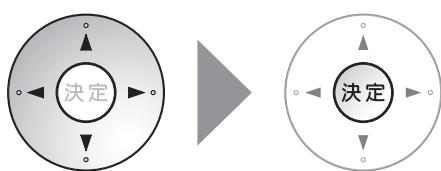
▲▼ボタンで項目を選び、**決定ボタン**を押します。

使いかた入門

このテレビの便利な機能を音声と画像でご紹介します。

目次から探す

内容別の目次から、知りたい項目を選んで説明を読むことができます。

用語から探す

あいうえお順の目次から、知りたい用語を選んで説明を読むことができます。

- 知りたい項目を探して解説を読むことができます。
- 解説ページから実際の操作画面へ移動することができます。
- 操作中にわからないことがあったら、ボタンひとつで解説ページを開くことができます。

3 説明を読みたい項目を選ぶ

▲▼**ボタン**と**決定ボタン**で項目を選びます。
「詳しい説明を見る」という項目が出たら、画面の説明に従って**青ボタン**または**赤ボタン**を押します。

▲▼◀▶**ボタン**と**決定ボタン**で項目を選びます。
「詳しい説明を見る」を選んで**決定ボタン**を押します。

4 解説ページが開きます

解説ページでの操作➔ 次ページ

やりたいことを探して直接操作画面へ！
「この機能を使う」を選ぶと、実際の操作画面に移動することができます。

操作の途中で解説を読む

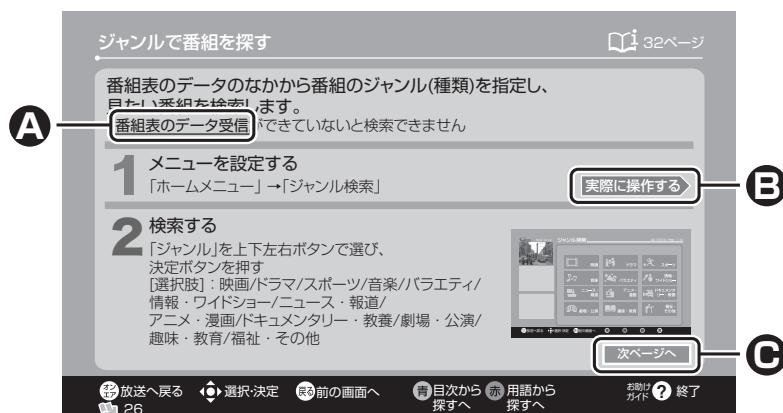
操作中、「この機能はどう使うんだろう？」と思ったら…

お助けガイド

を押す

操作中の機能に対応した解説ページが開きます。

・ テレビ放送や外部入力の映像を見ているときは、「目次から探す」のページが開きます。

解説ページの見かた

▲▼◄►ボタンで項目を選び、**決定ボタン**を押します。

・ 選択されている項目にはオレンジ色の枠が付きます。

リンクをたどる — A

青色の下線のついた項目を選ぶ

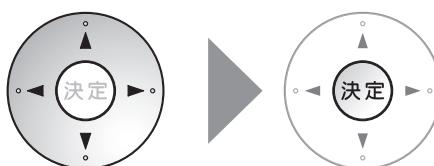
実際の操作画面に移動する — B

「実際に操作する」を選ぶ　実際に操作する

次のページを見る — C

「次ページへ」を選ぶ　次ページへ

用語の解説を見る

灰色の背景のついた用語を選ぶ

・ 選んだ用語の解説が表示されます。

前のページに戻る

を押す

「目次から探す」に戻る

青

-12H を押す

「用語から探す」に戻る

赤

+12H を押す

解説を閉じてテレビ放送に戻る

を押す

解説を閉じて接続した機器の映像に戻る

をくり返し押す

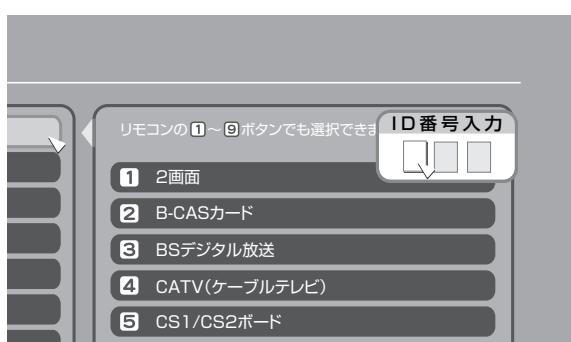
解説ページを直接開く

本文中のアイコン 000 は、お助けガイドの解説ページの番号を表しています。この番号を入力すると、知りたい項目の解説ページを直接開くことができます。

- お助けガイドの項目とページ番号は巻末にも記載されています。

➔ 51ページ「お助けガイドの項目一覧」

1 「目次から探す」または「用語から探す」の画面で 番号入力 を押す

画面右上に番号入力欄が表示されます。

2 ３ケタの番号を入力する

- 「0」は**10ボタン**で入力します。

入力をまちがえたら

を押す

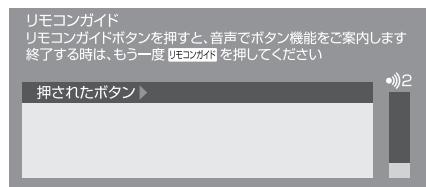
ひとつ前の位に戻ります。

例

045 の解説ページを開くには

「リモコンガイド」を使おう

リモコンボタンの操作・機能をテレビからの音声でご案内します。

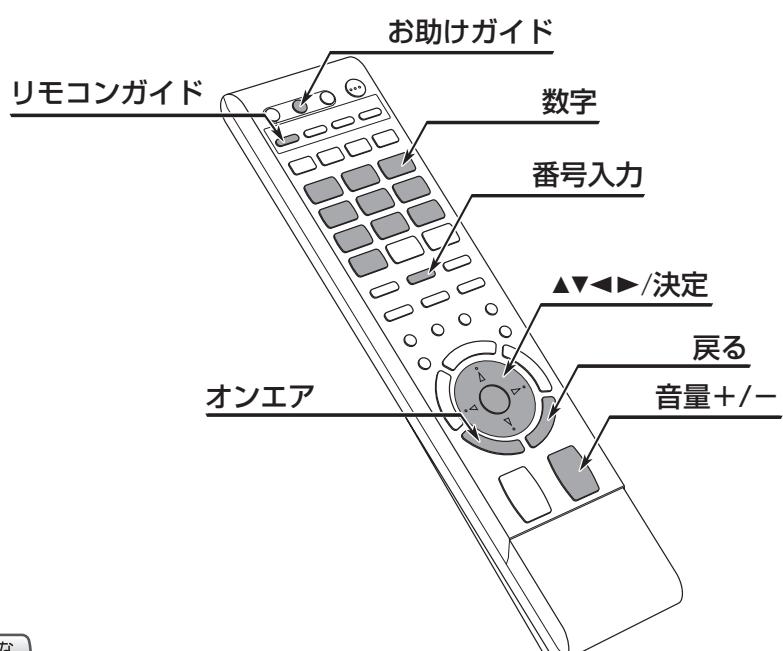
1 リモコンガイド を押す

2 説明を聞きたいボタンを押す

押されたボタンの説明が画面に表示され、解説が音声で流れます。

リモコンガイドの音量を調節するには

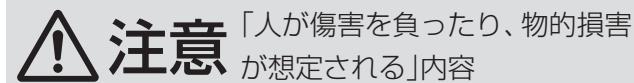
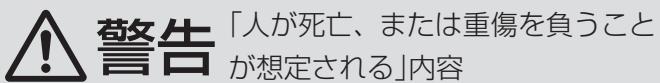
音量+/ーボタンを押して音量を10段階で調節します。

リモコンガイドを終了するには

リモコンガイドボタンをもう一度押します。
画面表示が消え、もとの音量に戻ります。

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠警告「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

⚠注意「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

ケガに注意

手を挟まれないように注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

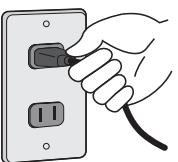
水場での使用禁止

実行して欲しいこと

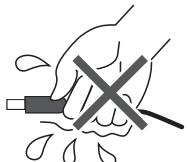
プラグをコンセントから抜く

⚠警告 設置・使用

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

一般的注意

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

禁止

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

禁止

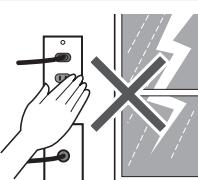
表示された電源電圧（交流100V)以外で使用しない

禁止

電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電注意

この機器の上に水の入ったものを置かない

禁止

内部に物を入れない

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。

禁止

この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない

分解禁止

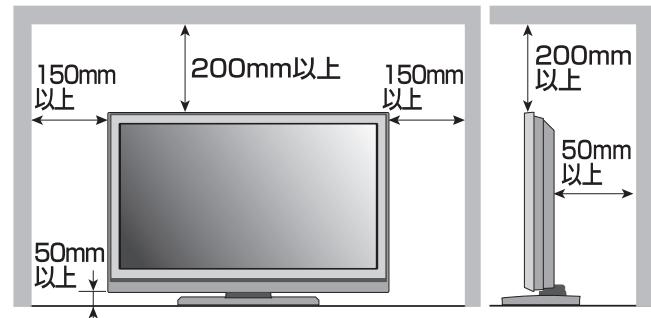
不安定な場所に置かない

禁止

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

一般的注意

放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。

本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

通風孔をふさがない

- 押し入れ、本箱などの上に置かない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまにしない

禁止

風呂場などの水のある場所で使わない

水場での使用禁止

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

一般的注意

万一異常が発生したときは

- ●煙が出ている、異臭がする。
- ●画面が映らない、音が出ない。
- ●内部に水や物が入ったとき。
- ●落下などにより破損したとき。
- ●電源コードが傷んだとき。

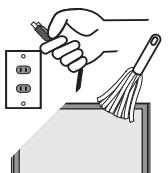
▶ 電源スイッチを切る。
電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

⚠注意 設置・使用

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

プラグをコンセントから抜く

すべてのランプが消えていても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、本機には電力が供給されています。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間、音が歪んだ状態で使わない

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

一般的注意

テレビは重いので、必ず2人以上で持つ

一般的注意

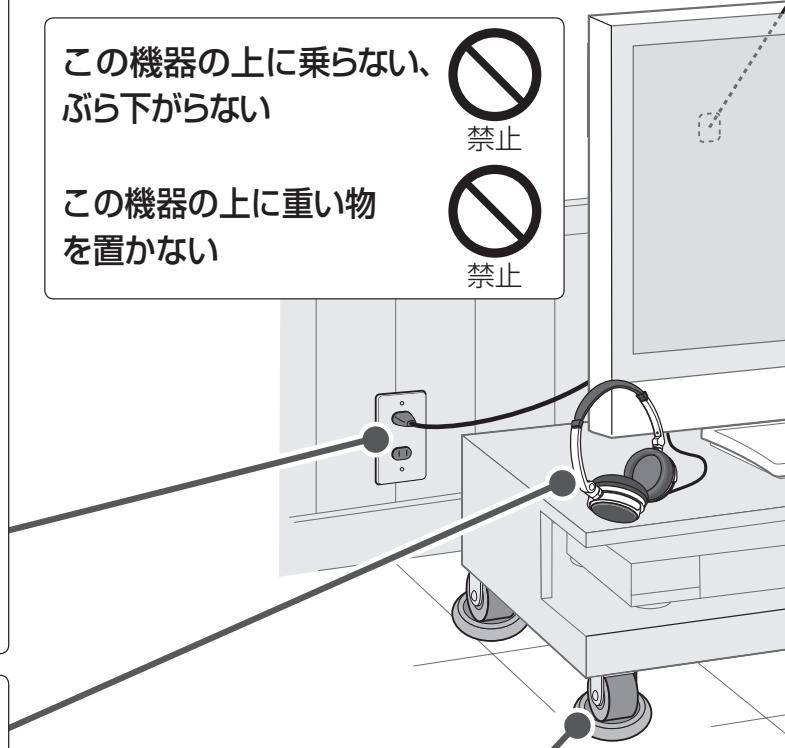
電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する

一般的注意

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

禁止

この機器の上に重い物を置かない

禁止

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。

一般的注意

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

禁止

健康のため、1時間ごとに10分～15分の休憩をとり、目を休めてください

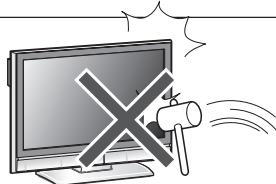
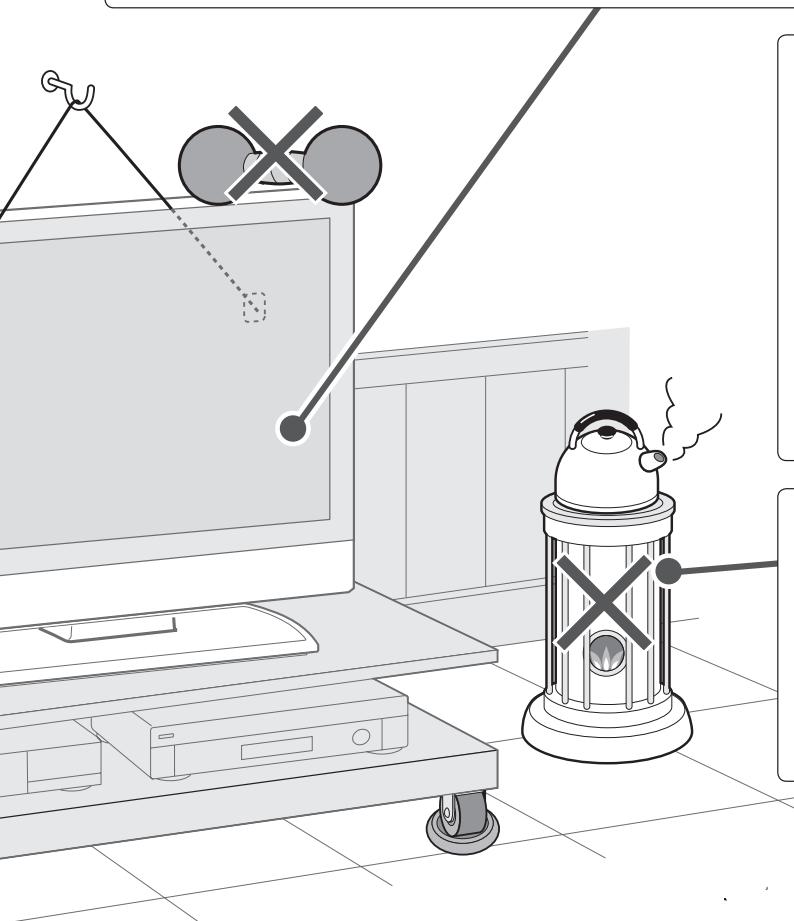
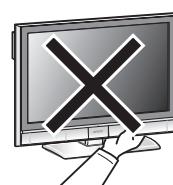
一般的注意

1年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください

一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください

一般的注意

液晶画面に衝撃を与えない
（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）
液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

本体パネルの下部を持って前後に傾けない
本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。指が挟まれて、けがの原因となることがあります。
また、無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

次のような場所に置かない
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

お手入れのしかた

画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。
- 画面にのりやテープなどを貼らない
- 画面にペンなどで書き込みをしない
- 画面を硬いものにぶつけない
- 画面を結露させない
- 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
- 画面を強くこすらない

画面のよごれを取り除く場合には、柔らかい布またはクリーニングクロスを使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

キャビネットのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

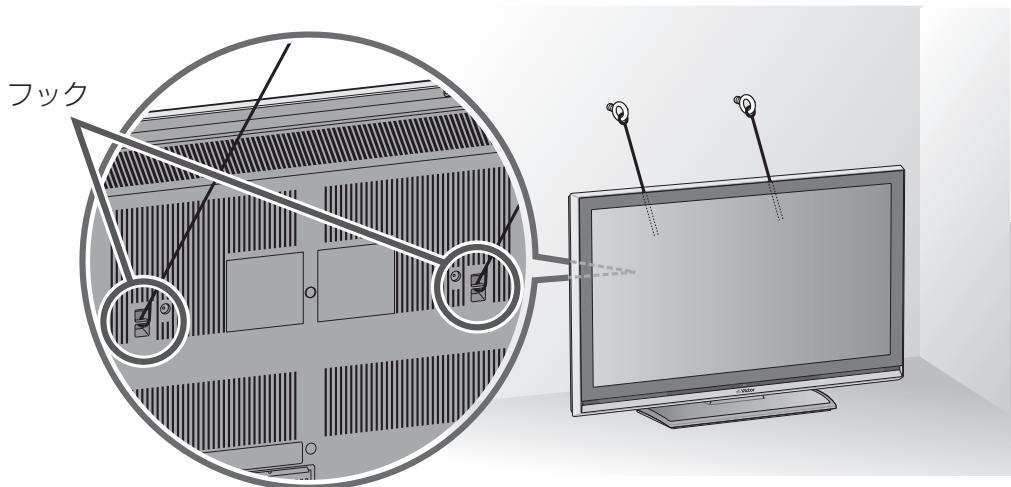
通気孔に付着したほこりは

本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

⚠注意 設置・使用

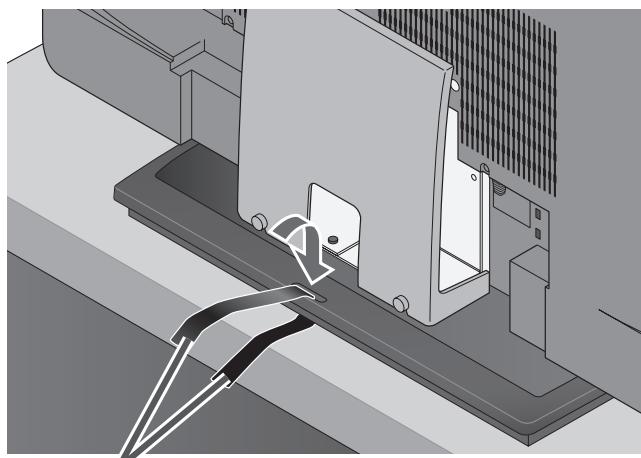
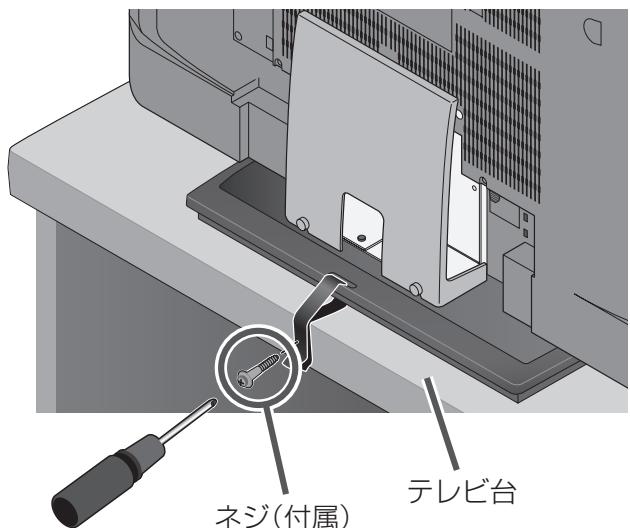
地震等での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

壁または柱などに固定するとき

本体後面のフックに、市販の丈夫なひもなどを結び、壁面や柱など堅牢部に固定してください。

壁にかけるとき

本機を壁にかけて使用するときは、必ず専用の角度調節可能ウォールマウントユニット(別売)をご使用ください。
壁掛けユニットの据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または販売店に、ご依頼ください。

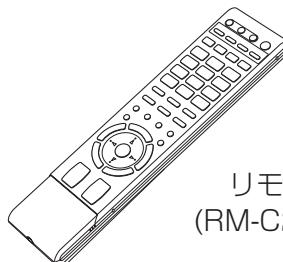
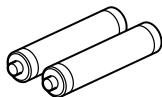
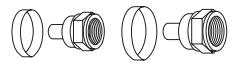
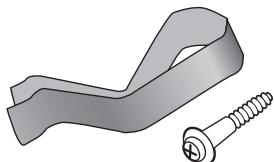
テレビ台に固定するとき

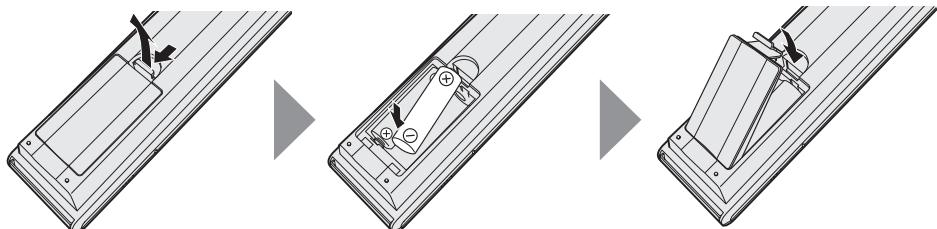
1 本体スタンド後面にあるバンド用の穴に固定用バンド(付属)を通す

2 固定用バンドの長さをそろえ、プラスドライバーを使ってネジ(付属)でテレビ台などに固定する

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

はじめる

準備

付属品

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口までご連絡ください。（➔ **56**、**57**ページ）

リモコンに電池を入れる

ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年使えます。
- 付属の電池は動作確認用です。

本体

258

SDカード挿入口

入力切換ボタン
(➔ 27ページ)

画面サイズ選択ボタン
(➔ 27ページ)

チャンネル+/ーボタン
(➔ 26ページ)

音量+/ーボタン
(➔ 26ページ)

電源ボタン
(➔ 26ページ)

ヘッドホン端子
(➔ 36ページ)

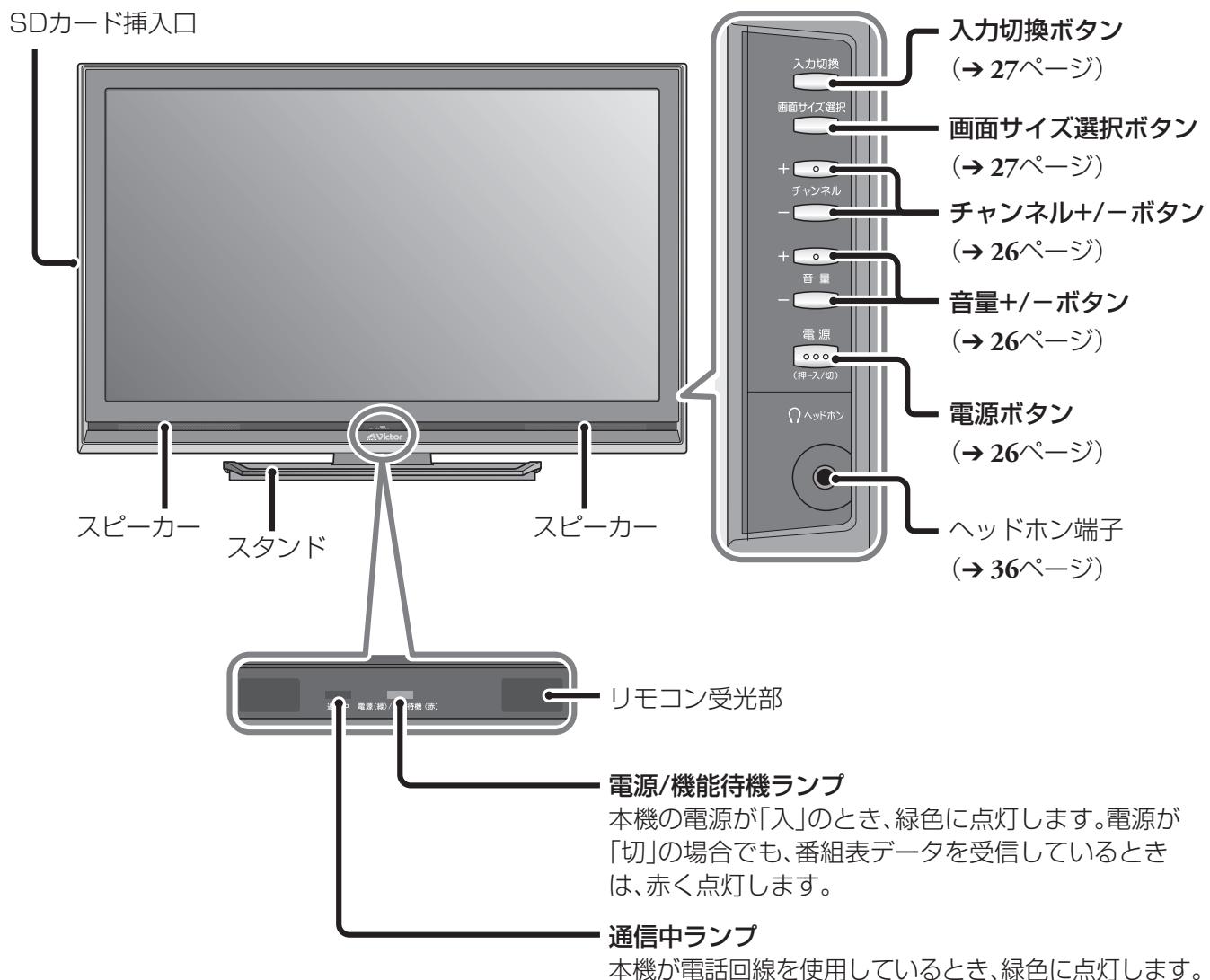
スピーカー

スタンド

スピーカー

リモコン受光部

電源/機能待機ランプ
本機の電源が「入」のとき、緑色に点灯します。電源が「切」の場合でも、番組表データを受信しているときは、赤く点灯します。

通信中ランプ
本機が電話回線を使用しているとき、緑色に点灯します。

画面の角度を調節するときは

左右それぞれに20度以内で調節できます。スタンドと本体パネルの側面をしっかりと押さえながら、ゆっくりと傾けてください。

設置

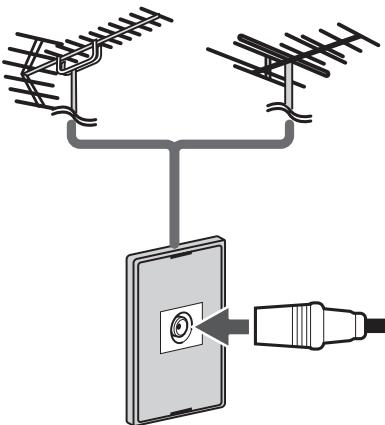
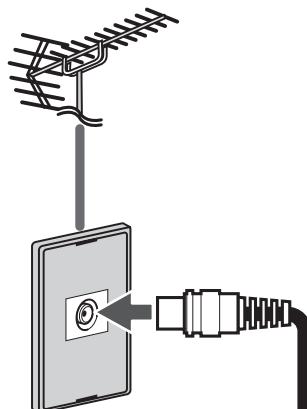
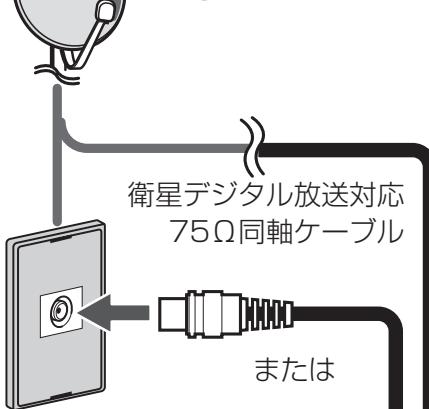
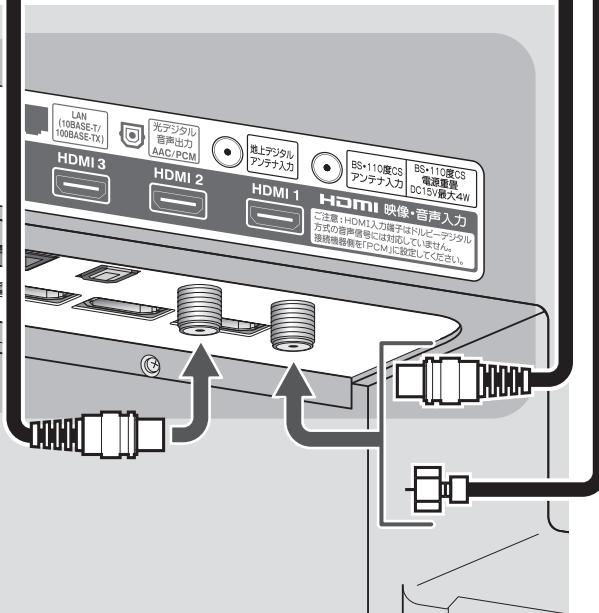
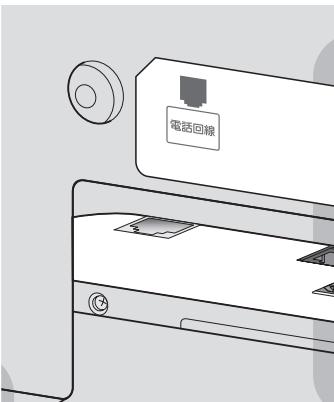
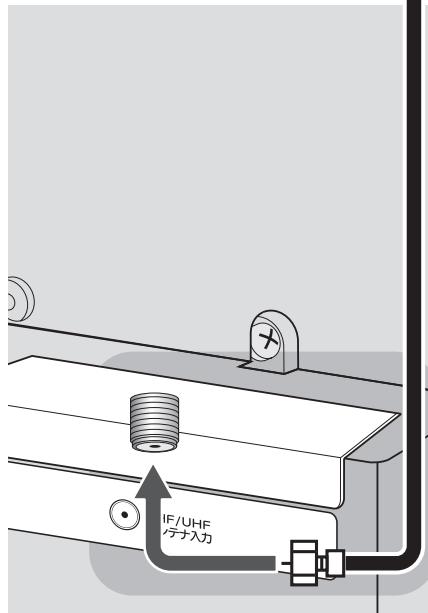
8〜12ページをよくお読みのうえ、正しく設置してください。

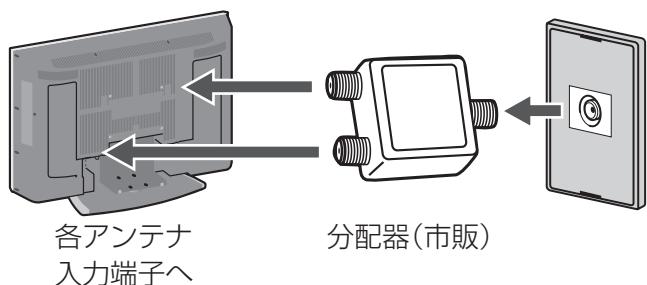
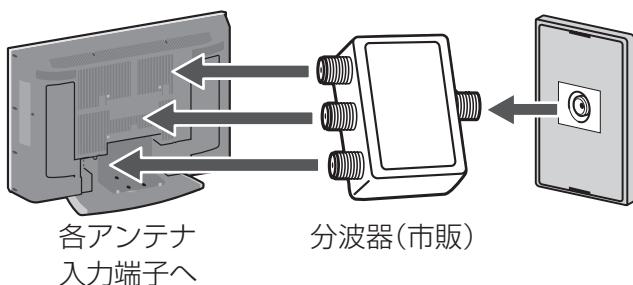
接続する

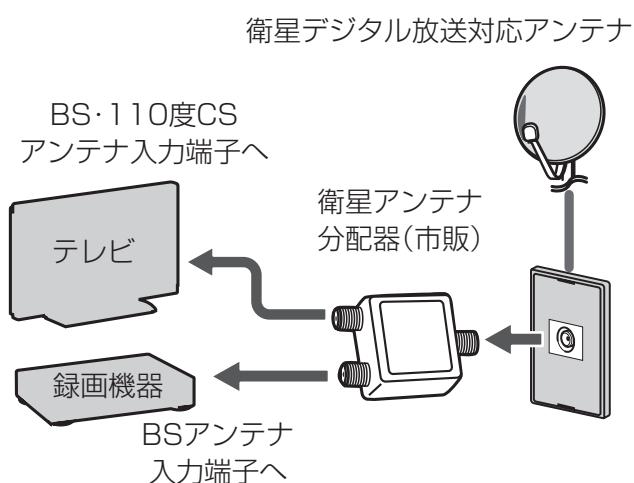
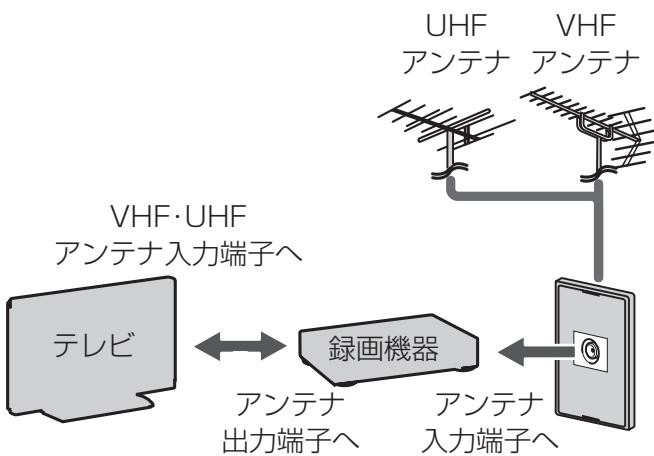
アンテナの接続

260 別紙の「かんたん設置・設定ガイド」もご覧ください。

テレビ放送を見るために必要な接続です。

ご覧になりたい放送に応じてアンテナを接続してください。

集合アンテナで放送が混合されているとき

● 地上アナログ放送(VHFとUHF)と地上デジタル放送のアンテナが混合されているとき

● すべての放送のアンテナが混合されているとき

チューナー内蔵の録画機器を接続するとき

● BSアナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは

● 地上アナログチューナー内蔵の録画機器をつなぐときは

F型接栓(付属)のつなぎかた(地上アナログアンテナ用)

2種類のF型接栓 (4C、5C) を付属しています。お使いのときはケーブルの太さに合わせたタイプをご使用ください。

- 平行フィーダー線は妨害を受けやすくなるので、使わないでください。
  またアンテナ線の接続には、付属のF型接栓をお使いください。
- 芯線と編組線が接触しないようにしてください。
- ケーブルの先端を処理するときは、芯線に傷をつけないようにしてください。
- リングは、必ず被覆の上で締めてください。

1 ケーブルを加工する

2 リングをとおす

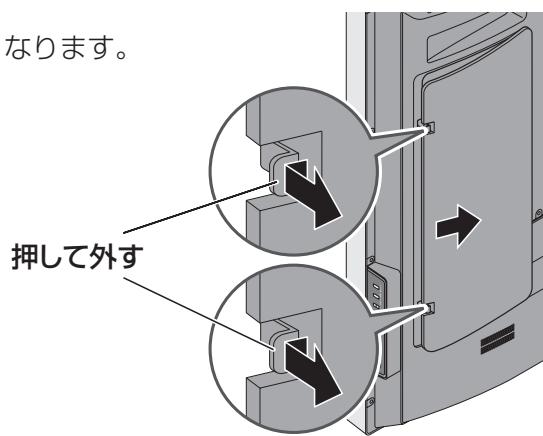
3 コネクターを差し込む

4 リングをペンチで締める

外部機器の接続

後部カバーの外しかた

つないだケーブルが増えると、カバーが閉まりにくくなります。
カバーを外してご使用ください。

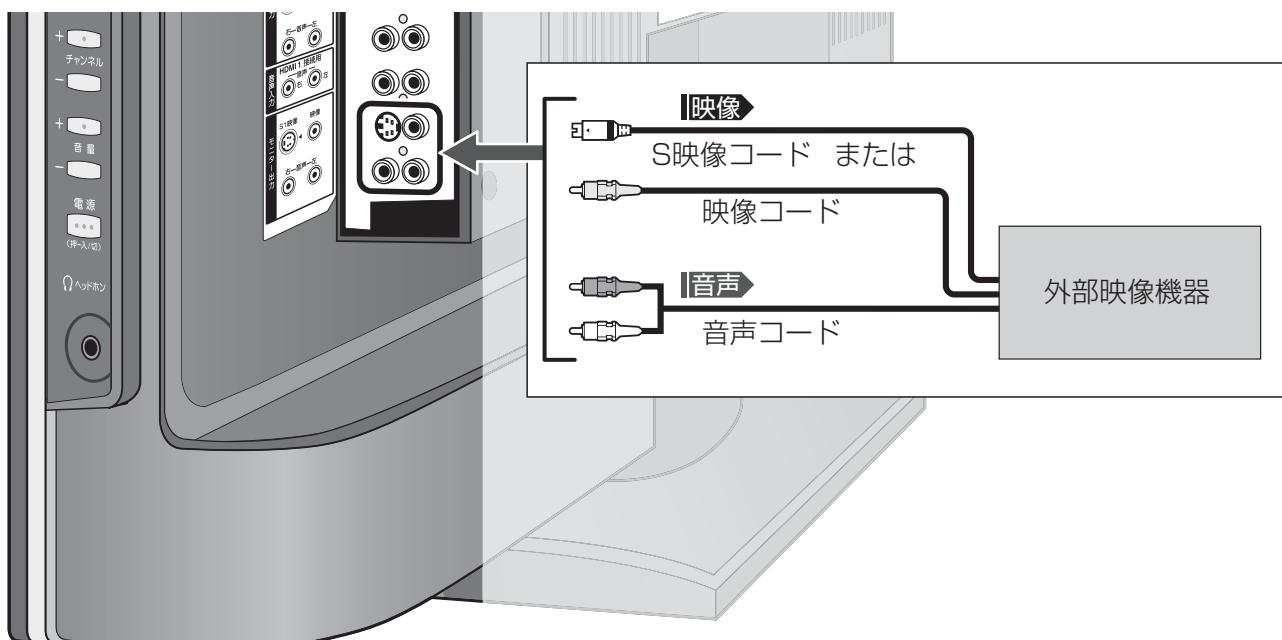
押して外す

映像出力のための接続

テレビで受信した映像と音声を外部機器に送るための接続です。

本機の映像をつないだ機器で録画するときのご注意

- 本機の電源が入っているときのみ、信号が出力されます。本機の電源を切ると、つないだ機器側では何も録画されません。
- 本機からは、録画予約の設定はできません。
- 見ている映像を録画するには、つないだ機器側で録画設定をしてください。
- 見ている映像を切り換えると、録画される映像も切り換わります。
- 地上アナログ放送の映像や各ビデオ入力からの映像は、S1映像出力端子からは出力されません。
- お助けガイドなどを操作しているときは、映像は出力されません。

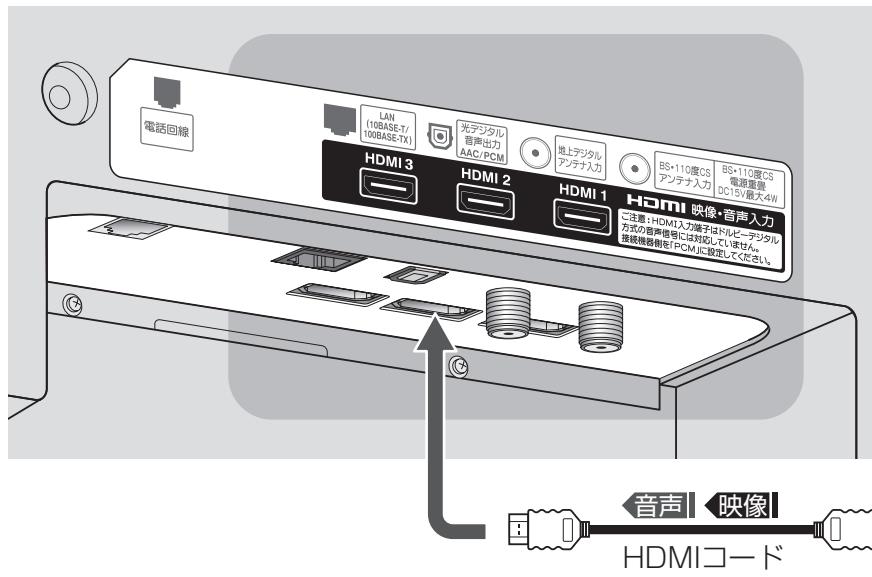
マクロヴィジョン

著作権保護された番組をビデオなどで録画する場合、著作権保護のための機能が働いて、正常に録画できません。また、著作権保護された番組をビデオデッキを介して本機以外のTVモニターなどに接続して見た場合、映像が乱れることがあります。

映像／音声:映像信号／音声信号の流れる向き

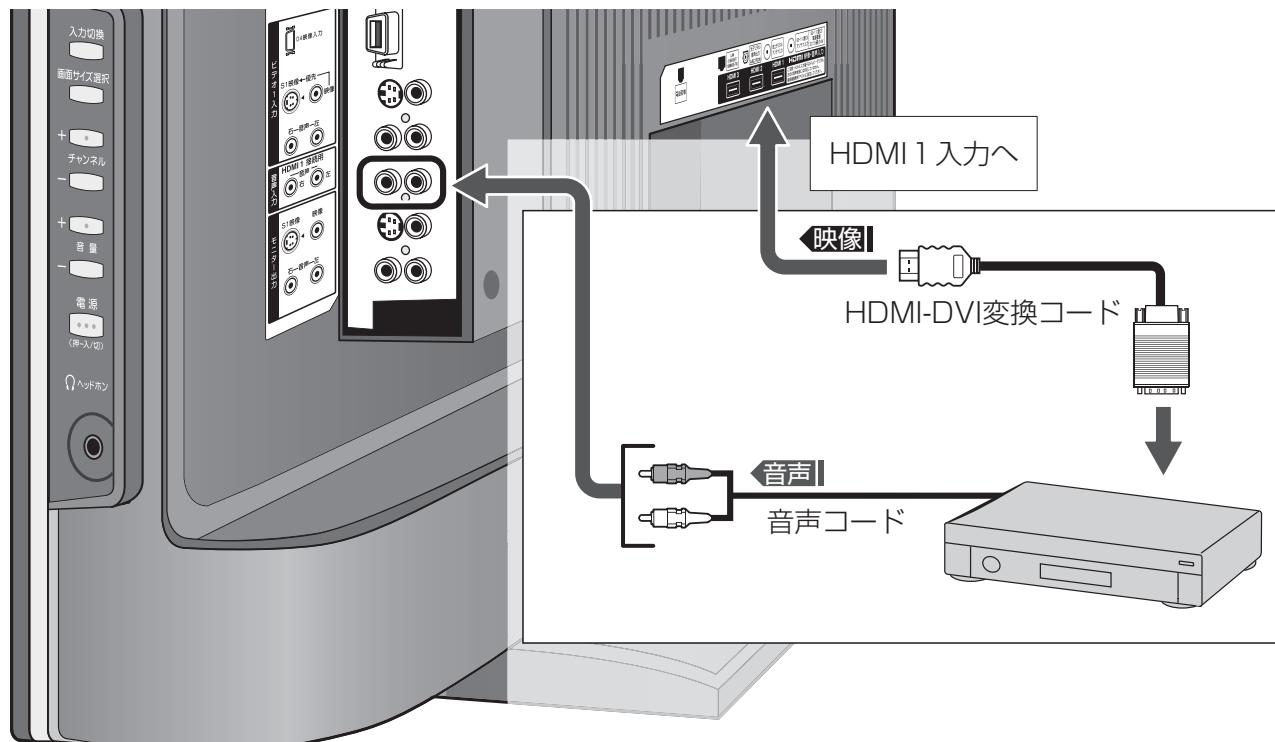
再生のための接続 229

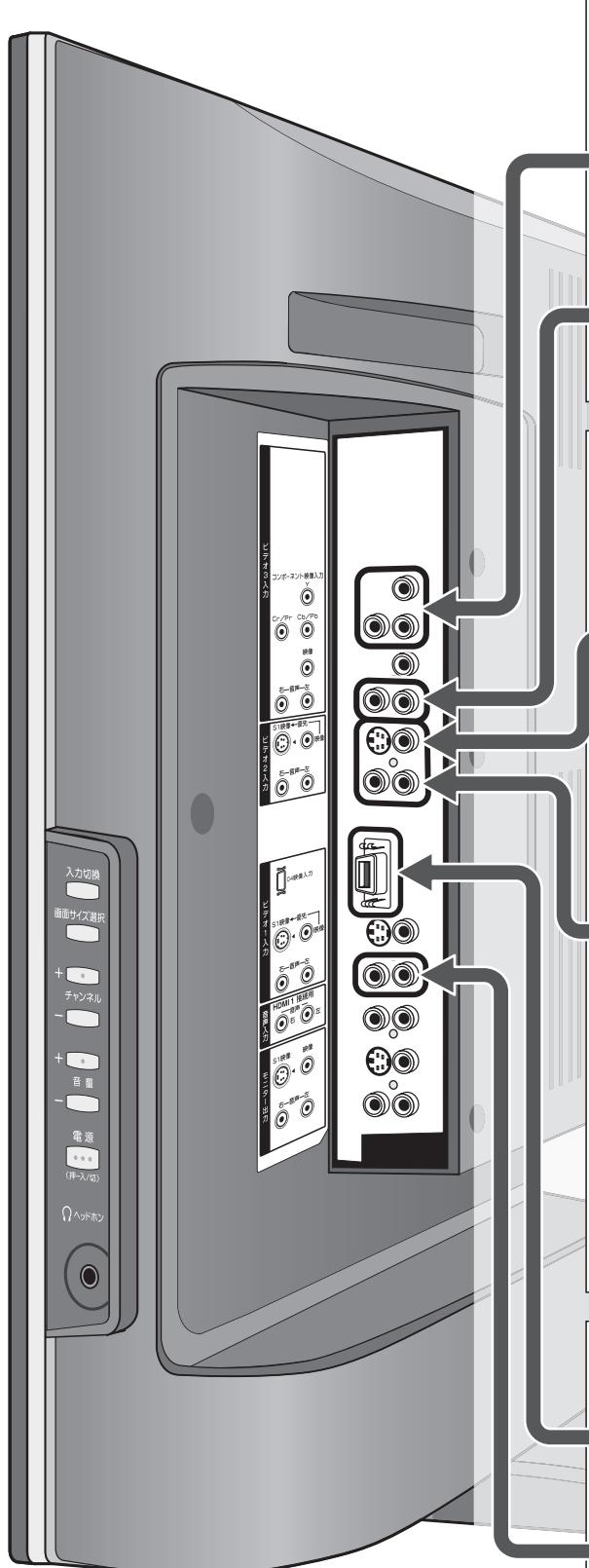
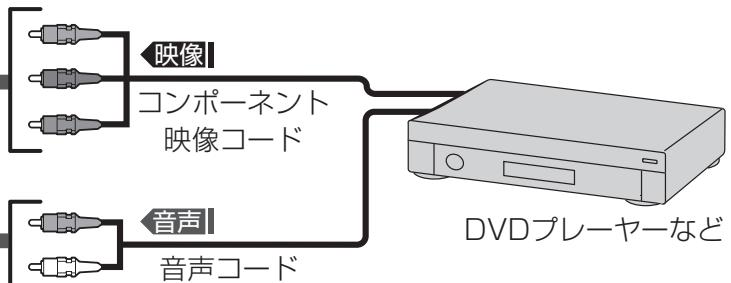
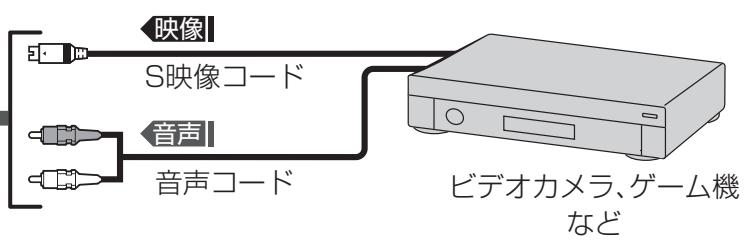
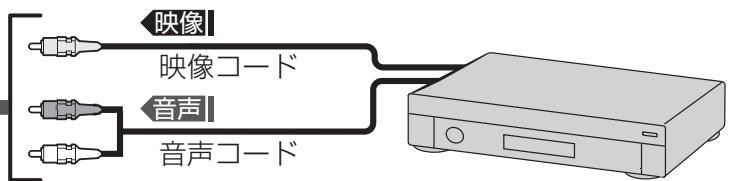
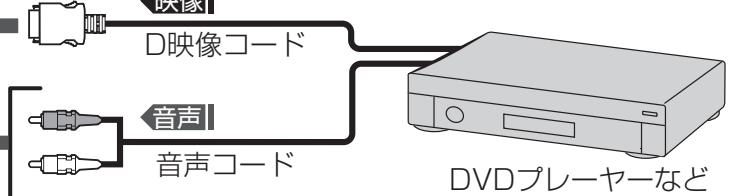
接続した機器の映像と音声をテレビで楽しむための接続です。

HDMI端子がある場合

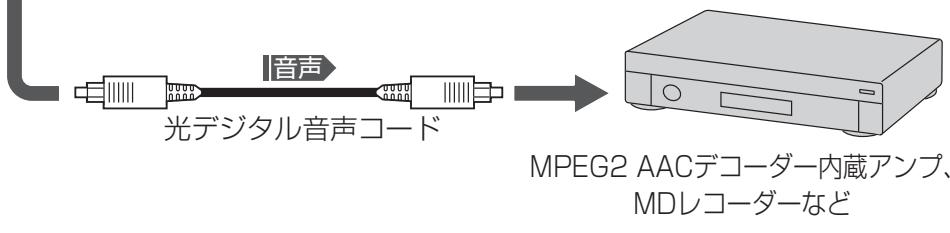
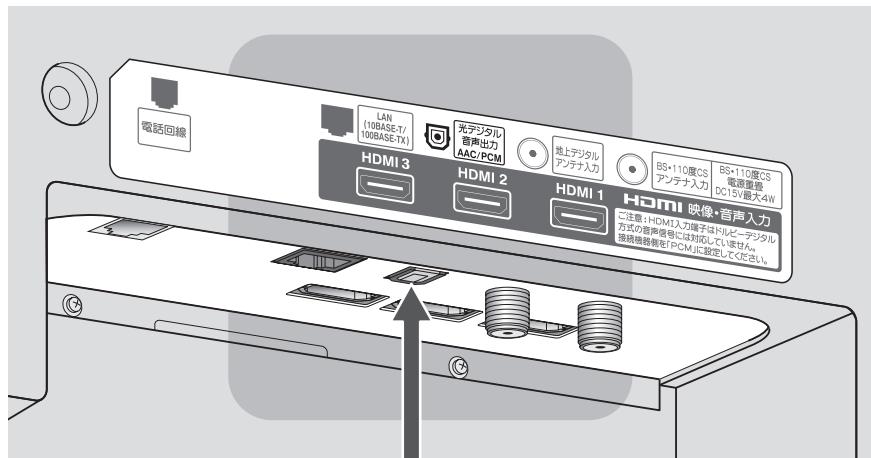
HDMIコード１本で映像と音声を再生できます。

DVI端子がある場合

HDMI-DVI変換コードをお使いください。

・ 本機のHDMI端子はパソコンからの映像・音声信号には対応していません。HDCP対応のパソコンを接続する場合でも動作は保証できません。

再生のための接続(続き)

・ お手持ちの機器にD映像出力やコンポーネント映像出力があるときは、D映像コードまたはコンポーネント映像コードでの接続をおすすめします。映像端子やS映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。

・ お手持ちの機器にS映像入出力端子があるときは、S映像コードでの接続をおすすめします。映像端子よりも鮮明な映像で再生できます。
・ ビデオ1のS端子とビデオ1、ビデオ3の映像端子も使えます。

映像／音声：映像信号／音声信号の流れる向き

音声を出力する 164

MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプに接続して、マルチチャンネル音声の番組を楽しめます。また、MDレコーダーなどに接続して、デジタル音声をデジタルのまま録音することもできます。➔ **42**ページ「光デジタル音声出力の設定」

- アンプを接続する場合は、本機の音量を「0」にして、アンプで音量を調節してください。
- MDレコーダーを接続する場合は、サンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDレコーダーをお使いください。
- 本機の光デジタル音声出力端子から出力されるデジタル音声信号は、次のとおりです。

出力される放送	出力されない放送と入力信号
・ 地上デジタル放送 ・ BSデジタル放送 ・ 110度CSデジタル放送	・ 地上アナログ放送 ・ ビデオ1入力からの信号 ・ ビデオ2入力からの信号 ・ ビデオ3入力からの信号 ・ HDMI入力からの信号 ・ 音声入力(HDMI1接続用)端子からの信号

ネットワークの接続

261 263

電話線

電話線を接続すると、デジタル放送の有料番組を購入したり、クイズやアンケートへの回答、ショッピングの申し込みなどの双方向型の番組に参加できます。

インターネット（アクトビラ）

本機をブロードバンドに接続すると、アクトビラを通じてテレビの画面でインターネットが楽しめます。➔ **33**ページ

DLNA

本機はDLNAに対応しています。ご家庭のネットワークに本機を接続することで、ネットワーク上のDLNA DMS対応機器のデータを楽しめます。➔ **34**ページ

下の接続図は一例です。ご家庭のネットワーク環境に応じて変更してください。

電話回線
LAN (10BASE-T/100BASE-TX)
光デジタル音声出力 AAC/PCM
地上デジタルアンテナ入力
HDMI 3
HDMI 2
HDMI 1

電話機やファクシミリなど

DLNA機器

パソコン

モジュラー分配コネクター

モジュラーコード

LANケーブル（ストレート）

LAN
WAN
ブロードバンドルーターやハブ

LANケーブル

LAN
ADSLモデム、VDSLモデム、ケーブルモデムなど

電話接続口へ

インターネットへ
- ADSL回線のときはスプリッターを経由して電話接続口へ
- 光ファイバー回線（マンションタイプ）のときはインターネット網へ
- ケーブルテレビ回線のときは、インターネット用の同軸ケーブル配線についてご契約のケーブルテレビ運営会社にご確認ください。

B-CASカードを入れる

001

デジタル放送を楽しむにはB-CASカードが必要です。B-CASカードが本機に挿入されていないと、デジタル放送を受信できません。B-CASカードを本機に挿入したままでご使用ください。

B-CASカードはこの製品に同梱されています。

- ご使用になる前に台紙裏面の使用許諾契約約款をよくお読みください。
- B-CASカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されたものです。破損・紛失などにより再発行を依頼されるときは再発行費用がかかります。B-CASカード（またはB-CASカードの台紙）に記載されたカスタマーセンターまでご連絡ください。

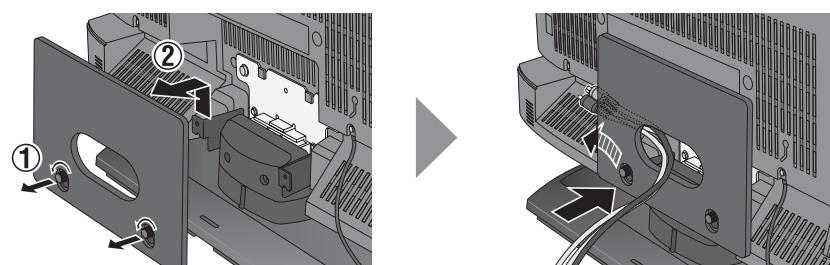
- LT-37LC205は挿入口にカバーがついています。
- LT-32LC205にはカバーはありません。

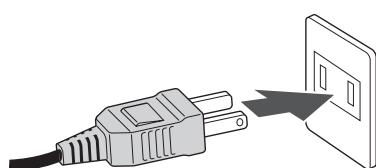
コードをまとめる

LT-37LC205

ネジをゆるめる

手前に引いて外す

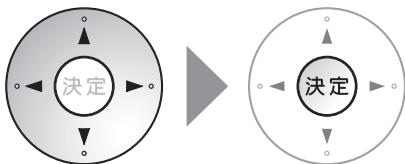
LT-32LC205

ネジをゆるめ、カバーを手前に引いて外す

電源コードをつなぐ

電源を入れると「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。 ➔ 次ページ

はじめる
楽しむ
知る

テレビ放送を見るための設定

お買い上げ設定ウィザード

初めて電源を入れると、「お買い上げ設定ウィザード」が始まります。テレビ放送を見るために必要な設定を行いますので、画面の指示と音声案内に従って進めてください。

- **戻るボタン**を押すとひとつ前の画面に戻れます。
- 「簡単設定ウィザード」で同様の項目を設定できます。➔ 37ページ

■ 地域設定

お住まいの地域を選びます。地上アナログ放送のチャンネルがこの設定に合わせて登録されます。

■ チャンネルスキャン(地上デジタル)

受信可能な地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して登録します。

■ アンテナの設定

衛星アンテナに電源を供給するかどうか設定します。

■ 郵便番号の設定

お住まいの地域の郵便番号を入力します。お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報など)を受信できるようになります。

■ 電話のテスト

電話回線が正しく通信できるかどうか確認します。

これで設定は終わりです。テレビ放送をお楽しみください。

うまく映らないときは

まったく映らない！

- アンテナは正しくつながっていますか？
- 放送に対応したアンテナやケーブル、分配器・分波器を使っていますか？
- B-CASカードは入れましたか？➔ 23ページ

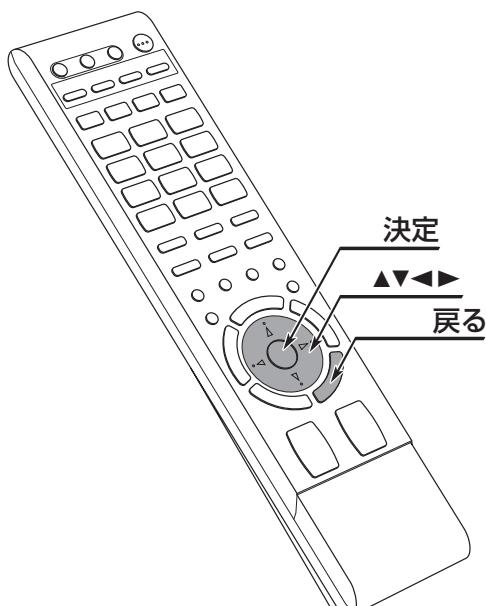
きれいに映らない！

- アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか?
- アンテナの向きは調整しましたか？
  ➔ 41ページ「アンテナの設定」で受信感度を確認できます。

外部機器が映らない！

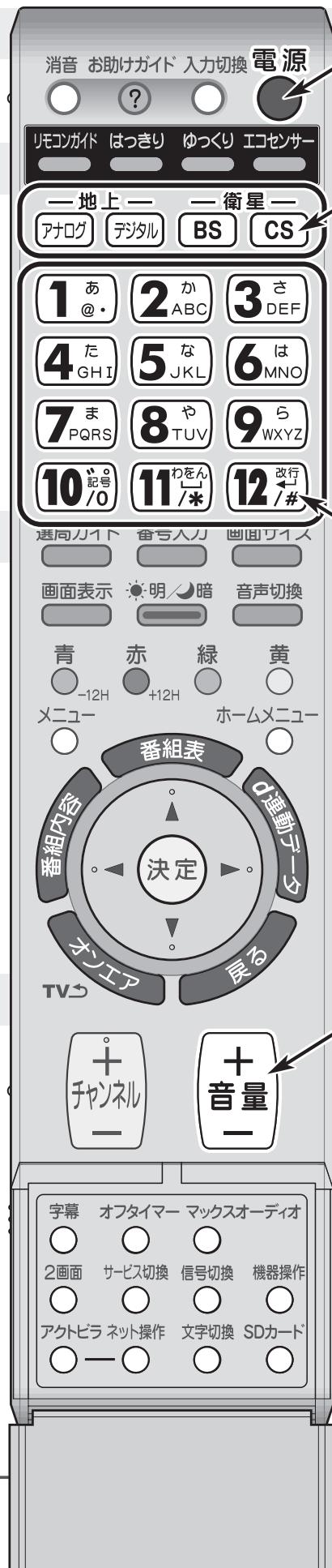
- 必要な接続がされていますか？
- 正しい入力を選んでいますか？➔ 27ページ

画像の端が切れてる！

- 故障ではありません。**画面サイズボタン**で表示される画面の大きさを選択してください。
  ➔ 27ページ

楽しむ

基本の操作

1 電源を入れる

電源/機能待機ランプが点灯します。

2 見たい放送に切り換える

- 地上アナログ放送を見る　— 地上 — アナログ
- 地上デジタル放送を見る　— 地上 — デジタル
- 衛星デジタル放送を見る　— 衛星 — BS CS

3 チャンネルを選ぶ

- でもチャンネルを変えられます。
- このほかにもチャンネルの選びかたがあります。➔ 右ページ

4 音量を調整する

急いで音を消すには

消音 を押す

もう一度押すと元の音量に戻ります。

チャンネルの選びかた

数字ボタンや**チャンネルボタン**を使う以外にもチャンネルを選ぶ方法があります。

3ケタのチャンネル番号で選ぶ 034

番号入力
を押す

数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力してください。

- お住まいの地域によっては4ケタ目の枝番号を入力する必要があります。037

選局ガイドで選ぶ 036

選局ガイド
を押す

見たいチャンネルに対応する**数字ボタン**を押してください。

番組表で見たい番組を選ぶ

➔ 30ページ

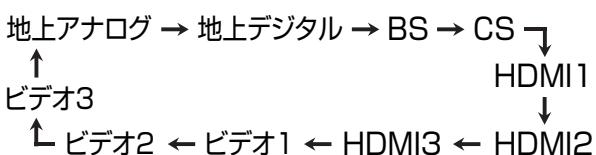
つないだ機器の映像・音声を楽しむ 165

外部機器の映像を見るときは、機器をつないだ外部入力に切り換えます。

入力切換
を押す

- ▲▼**ボタン**を押して入力を選んでください。
- **入力切換ボタン**を押したあとに**数字ボタン**を押すと対応する入力を直接選べます。

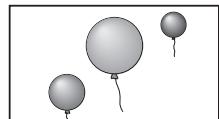
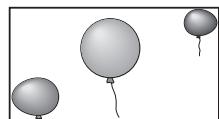
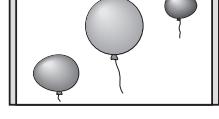
入力切換
1 BS 103
2 HDMI1
3 HDMI2
4 HDMI3
5 ビデオ1
6 ビデオ2
7 ビデオ3

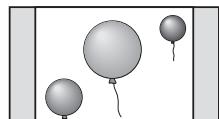
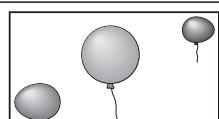
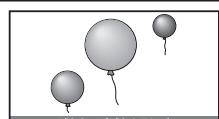
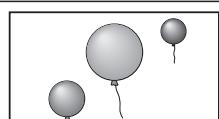
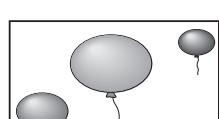
- 本体の**入力切換ボタン**を押すと、次のように入力が切り換わります。

画面のサイズを変える

画面の端が切れたり、画面の周囲の黒い帯が気になるときは、表示される画面のサイズを変えます。

画面サイズ
を押す

デジタル放送(750p、1125i)のとき

フル
オリジナルサイズ(16:9)の映像を、画面いっぱいに見るとき

パノラマズーム1
自然に拡大して見るとき

パノラマズーム2
自然に拡大して見るとき

地上アナログ放送やビデオ、デジタル放送(525i、525p)のとき

ノーマル
オリジナルサイズ(4:3)で見るとき

パノラマ
自然に拡大して見るとき

字幕パノラマ
字幕入りの映画番組を見るとき

シネマ
映画番組を見るとき

フル
オリジナルサイズ(4:3)の映像を、画面いっぱいに拡大して見るとき

- 映像によっては黒い帯が残ったりすることがあります。

便利な機能

リモコンボタンでできる操作です。

テレビの使いかたを調べる 254

お助けガイド ?

わからない用語について調べたり、今使っている機能の解説ページを開いたりできます。➔ 6ページ

リモコンボタンの機能を知る 230

リモコンガイド

ボタンの機能をテレビがしゃべってお知らせします。➔ 7ページ

音声を聞きやすくする 113

はっきり

はっきり
切り
はっきり
ひっそり

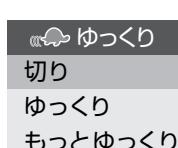
はっきり：アナウンサーの声やドラマの会話を聞こえやすい自然な音量にします。

ひっそり：音量を小さくしても人の声がはっきり聞こえます。

音声をゆっくりにする 114

ゆっくり

言葉と言葉の間を利用して速度を調節し、会話を自然で聞き取りやすくします。

ゆっくり
切り
ゆっくり
もっとゆっくり

字幕を表示する 025

字幕

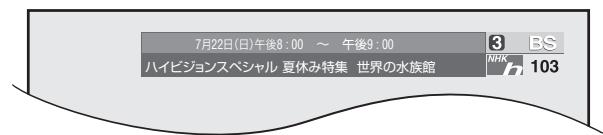
音声を切り換える 112

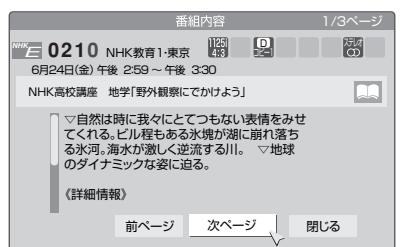
音声切換

ステレオ/モノラル、主/副音声がある番組で音声を切り換えます。

情報を見る 031

画面表示

番組の情報、または選んでいる接続機器の名前を画面の上部に表示します。

番組の内容を見る 038

番組表を見る 039

➔ 30ページ

番組に連動したデータ放送を見る 049

放送画面に戻る 210

自動的に電源を切る 023

オフタイマー

オフタイマー
切り（解除）
30分
1時間
1時間30分
2時間

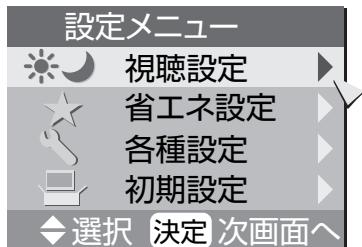
ホームメニューを開く 423

ホームメニュー

いろいろな操作の入り口となる「ホームメニュー」を開きます。

- テレビの使いかたを調べる➔ **4**ページ
- 番組を探す➔ **32**ページ
- 放送局からの情報を見る➔ **32**ページ

メニューを開く 400

メニュー

いろいろな設定をするためのメニューを開きます。➔ **37**ページ

音質を調節する 403

マックスオーディオ

音質の設定をするマックスオーディオメニューを呼び出します。
➔ **39**ページ

映像と音声の組み合わせを選ぶ 082

視聴環境に合わせて映像と音声の設定を選びます。➔ **38**ページ

画面の明るさを自動的に調節する 142

エコセンサー

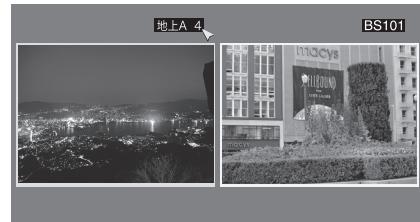
映像の明るさや部屋の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節します。

入り: オートピクチャーとE.E.センサーの両方がはたらきます。

ユーザー: オートピクチャーとE.E.センサーの現在の設定を適用します。(➔ **38**、**39**ページ)

2つの映像を同時に見る 040

2画面

異なる番組やビデオなどの映像を、2つの画面で同時に楽しめます。

デジタル放送(1125i、750p、525p)の映像をご覧のとき

- 同じチューナーのチャンネルを左右で見ることはできません。そのほかにも同時に見ることのできない映像の組み合わせがあります。

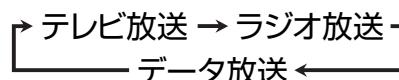
信号を切り換える 047

信号切換

デジタル放送には、マルチビューなど複数の映像を放送している番組や、複数の音声信号を放送している番組があります。このような番組で、映像と音声を切り換えます。

独立データ放送、ラジオ放送を楽しむ 046 042

サービス切換

テレビ放送 → ラジオ放送 → データ放送 →(テレビ放送へ戻る)

つないだ機器を操作する 248

機器操作

本機に接続されたDLNA機器を操作します。
➔ **34**ページ

SDカードの画像を見る 119

SDカード

SDカードの画像一覧画面を開きます。
➔ **35**ページ

番組表で番組を探す

どのチャンネルでいつ、どんな番組をやっているのか、テレビ画面で調べることができます。

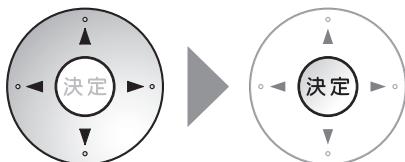
番組表を見る

を押す

番組表が画面に表示されます。

テレビ放送画面に戻る

を押す

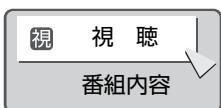
番組を選ぶ

番組を選んで**決定ボタン**を押すと、その番組を見るか、視聴予約することができます。 ➔ 右ページ

表示される時刻、日付を変える

番組表を拡大、縮小する

番組表のデータ受信について

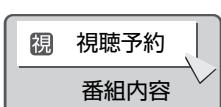
- 番組表は、BSデジタル放送のGガイドや、デジタル放送の電波で、1日数回配信されます。
  受信にはBS･110度CSデジタルアンテナ、地上デジタルアンテナの接続と設定が必要です。
- 地上アナログ放送の番組表は、BSデジタル放送のGガイドから配信されます。
  必ず、BS･110度CSデジタルアンテナの接続と設定が必要です。
  次回の配信時刻は、「Gガイド受信確認」(➔ **41**ページ)をご覧ください。

現在放送中の番組を選んだとき

視聴

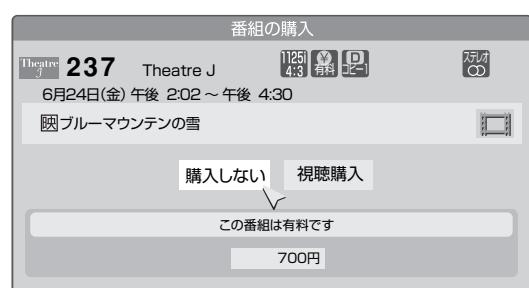
選んだ番組に切り換わります。

番組内容

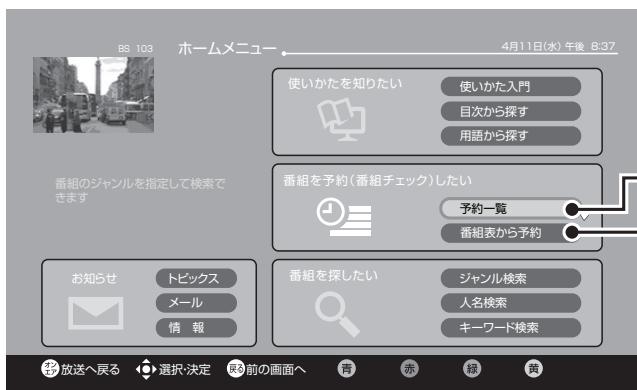
選んだ番組の内容を確認できます。

放送予定の番組を選んだとき

視聴予約

番組が始まる時刻にテレビの電源が入っていると、自動的にその番組に切り換わります。

- 選んだ番組が有料(ペイ・パー・ビュー)だったときは、番組の購入画面が表示されます。

予約内容を確認する

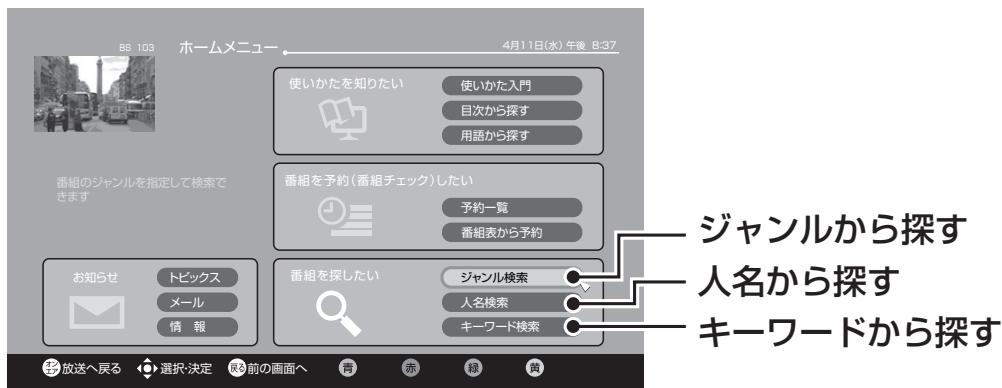
「ホームメニュー」から「予約一覧」を選んでください。

ホームメニュー

予約内容を確認する

番組表を開いて視聴または視聴予約（番組チェック)する

番組を検索する

021 026 027

番組表情報をもとに、ジャンルや出演者の名前から番組を探すことができます。

1 ホームメニュー を押す

2 条件を指定して、番組を検索します。

見つかった番組は、番組表から選んだときと同様に、視聴または視聴予約ができます。

ホームメニューで情報を確認する

ホームメニュー を押す

トピックス		放送局から送られてくる情報トピックスを見ることができます。
メール		放送局から送られてくる情報や、本機の機能向上を行うダウンロード情報などを確認します。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
情報		
	CS1ボード CS2ボード	110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。
	購入履歴	購入した有料番組の放送日や番組名、金額などの履歴を確認することができます。

お助けガイド 操作の詳しい説明は「お助けガイド」をご覧ください。

000 の使いかた➔ 7ページ

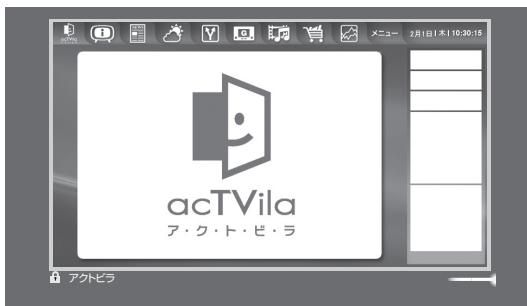
インターネットを楽しむ — アクトビラ

アクトビラとは

本機をブロードバンドに接続すれば、テレビをもっと楽しむための情報や、TVをもっと使いたくなるサービスが無料でお使いいただけます。
リモコンだけの簡単な操作で、安心安全なサービスを手軽にお楽しみいただけます。
事前にブロードバンドへの接続と設定が必要です。
➔ 22ページ

アクトビラを始める 195

1 アクトビラ ◯ を押す

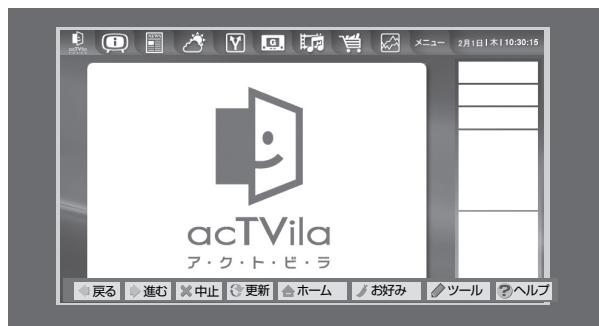
アクトビラのポータルサイトが表示されます。

2 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンで見たい項目を選ぶ

アクトビラを終了する

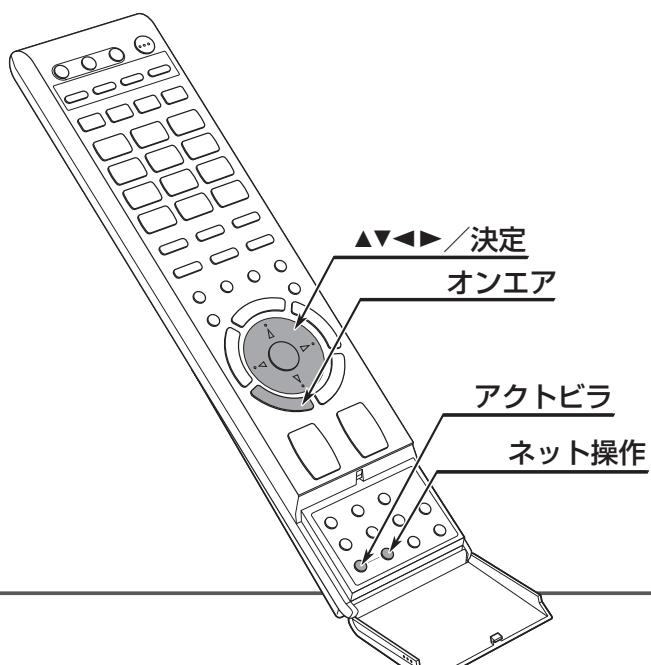
を押す

インターネットの操作 191

ネット操作
 を押す

画面の下部に操作パネルが表示されます。

戻る	1つ前のページに戻ります。
進む	1つ先のページに進みます。
中止	読み込みを中止します。
更新	表示中のページを再読み込みします。
ホーム	ポータルサイトへ戻ります。
お好み	お好みに登録したページを表示します。お好きなホームページを登録して、簡単に呼び出せます。
ツール	アドレス入力、データの保存·再生、画面メモの機能を使います。
ヘルプ	ネット操作のヘルプを表示します。

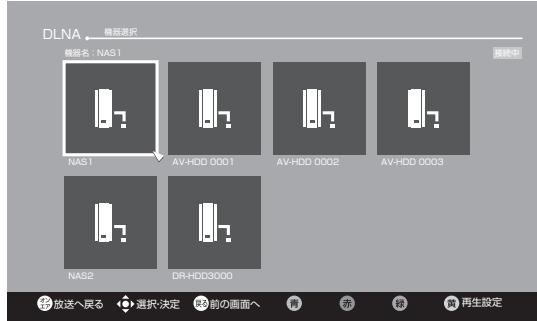
操作パネルを閉じる

もう一度 ネット操作 ◯ を押す

DLNA機器のデータを再生する

ネットワーク上のDLNA機器のデータを本機で楽しむことができます。本機は動画と静止画の再生に対応しています。
事前にご家庭のネットワークへの接続が必要です。➔ 22ページ

ファイルを選んで再生する 248

1 機器操作 を押す

接続している機器の一覧が表示されます。

・ 地上アナログ放送の受信中は表示されません。デジタル放送に切り換えてください。

2 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンで機器を選ぶ

選んでいる機器のフォルダ・ファイルの一覧が表示されます。

3 ▲▼◀▶ボタンと決定ボタンでフォルダをたどり、再生したいファイルを選ぶ

選んだファイルの再生が始まります。

再生方法を設定する

機器一覧画面またはフォルダ・ファイル一覧画面で 黄 を押す

スライドショーの再生間隔、再生する音声、サムネイルの表示方式が設定できます。

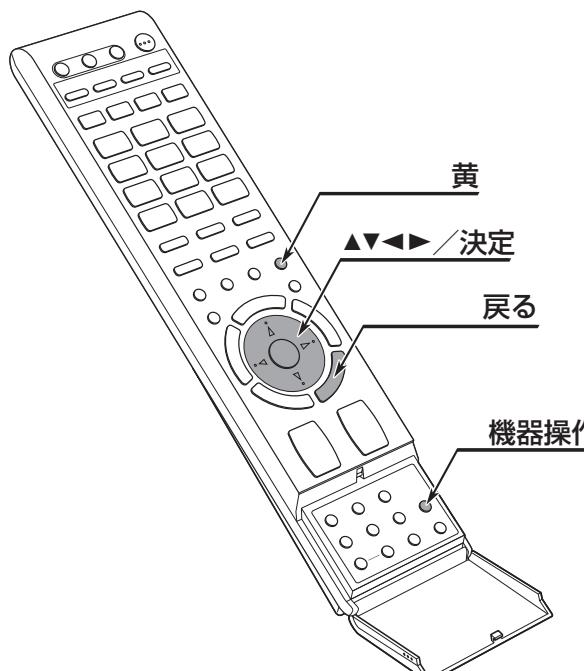
テレビからDLNA機器を操作する 249

ファイルの再生中に 機器操作 を押す

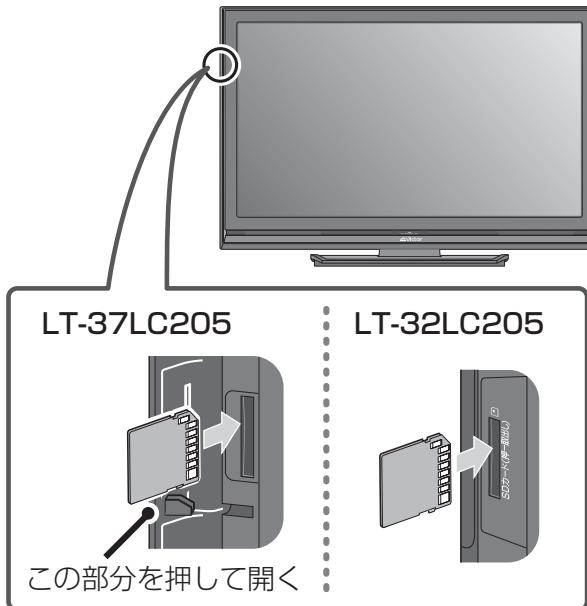
操作パネルが表示されます。

▲▼◀▶ボタンでボタンを選び、**決定ボタン**を押してください。
カラーボタンでも操作できます。

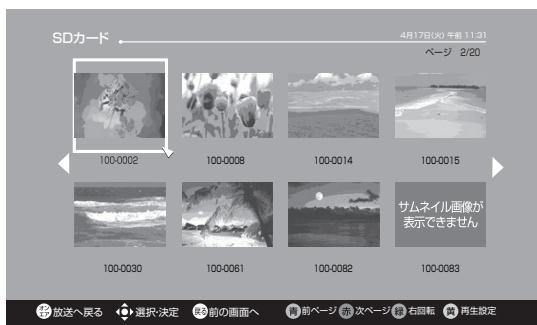
再生を終了する

を押す

SDカードの画像を見る

SDカードに記録したデジタルカメラの静止画像を再生できます。

SDカードを入れる

画像の一覧が表示されます。

テレビ画面に戻るには

を押す

再び画像一覧を見るには

SDカード
◯ を押す

SDカードを抜くには

SDカードを指で押し込む

一枚ずつ見る

画像一覧画面で見たい画像を選び、(決定)を押す

選んだ画像が大きく表示されます。

◄►ボタンで前後の画像を見ることができます。

一覧表示に戻るには

を押す

連続して見る

120

1 画像一覧画面で 黄◯ を押す

再生間隔の設定画面が開きます。

2 再生時間を選ぶ

3 画像を選んで (決定) を押す

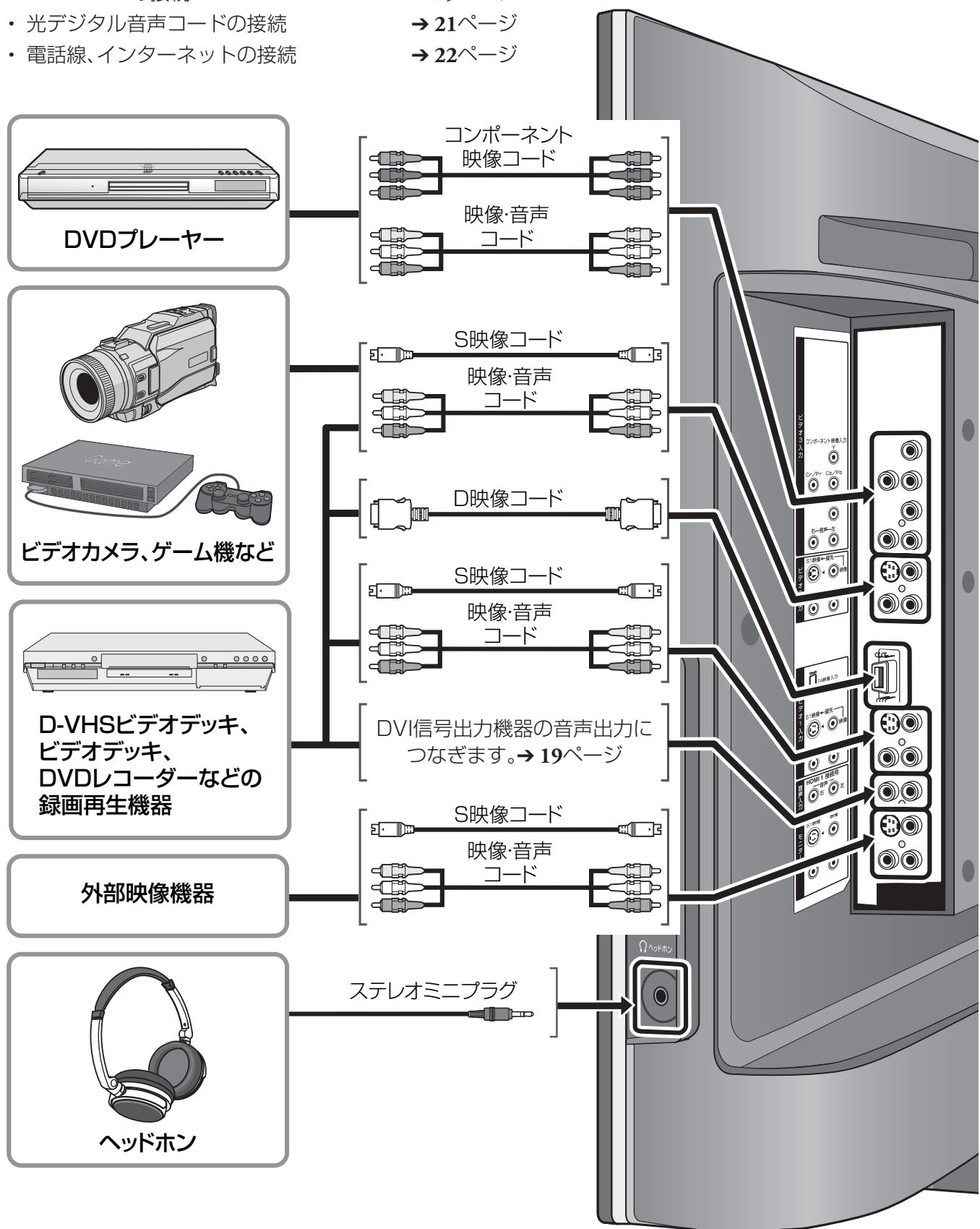
その画像から順に連続して画像が表示されます。

再生を一時停止するには

もう一度押すと再生が再開されます。

接続一覧

接続のあと、対応する入力を選んでください。➔ **27**ページ

- アンテナの接続 ➔ **16**ページ
- HDMI･DVIの接続 ➔ **19**ページ
- 光デジタル音声コードの接続 ➔ **21**ページ
- 電話線、インターネットの接続 ➔ **22**ページ

メニュー操作

メニュー ◯ を押す

設定メニューが開きます。

設定メニュー
- 視聴設定
- 省エネ設定
- 各種設定
- 初期設定

選択 決定 次画面へ

視聴設定 ➔ 38ページ 402

視聴設定
- 明／暗選択 | ダイナミック
- 映像調節
- マックスオーディオ
- マックスオーディオの効果 | 切り 入り

選択 決定 調節画面へ 戻る 前画面へ メニュー 終了

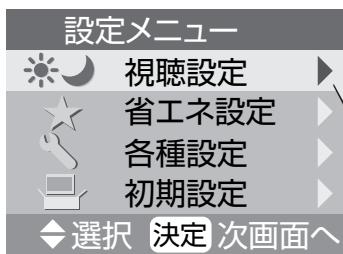
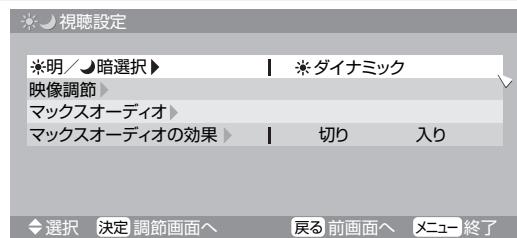
省エネ設定 ➔ 39ページ 404

省エネ設定
- E.Eセンサー | 入り
- 無信号電源オートオフ | 切り 入り
- テレビ消し忘れ防止設定 | 切り 入り
- エコセンサーの効果表示 | 切り 入り

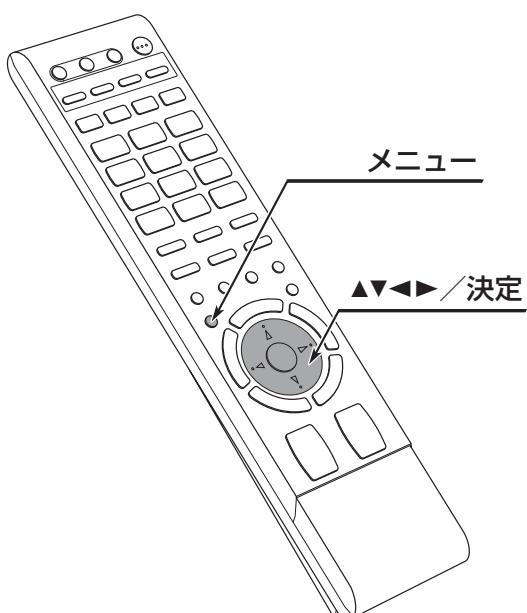
選択 決定 次画面へ 戻る 前画面へ メニュー 終了

各種設定 ➔ 40ページ 405

各種設定 1／2ページ
- 画面位置の調整
- 画面サイズ | パノラマ
- ナチュラルシネマ | 自動
- 外部映像入力設定
- ビデオ入力接続設定
- ビデオ1入力のモニター出力 | 切り 入り

選択 決定 次画面へ 戻る 前画面へ メニュー 終了

各メニュー画面内では、▲▼◀▶ボタンで項目を選択し、決定ボタンで設定を選んでください。

メニューを消すには

メニュー ◯ を押す

初期設定 ➔ 40ページ 408

簡単設定ウィザード ➔ 24ページ	受信に必要な設定を自動で行います。
地上アナログ	地上アナログ放送の設定をします。
地上デジタル	地上デジタル放送の設定をします。
BS/CSデジタル	BS/CSデジタル放送の設定をします。
デジタル放送共通	本機に接続した機器に関する設定や安心してご使用いただくための設定をします。
ネットワーク	アクトビラやデータ放送を使うための設定をします。

視聴設定 ☀☾

402

☀明／☾暗選択	視聴環境にあった映像と音声の組み合わせを選ぶことができます。	☀テレビ、☀シネマ、☾シアタークール、☾シアターウォーム、☀ダイナミック

映像調節	「☀明／☾暗選択」の現在の設定について以下のような映像の調節ができます。	
ピクチャー	明るさ、色の濃さを決めます。	薄く ↔ 濃く
黒レベル	見やすい明るさにします。	暗く ↔ 明るく
色あい	お好みの肌色に調節します。	赤っぽく ↔ 緑っぽく
色の濃さ	発色を調節します。	薄く ↔ 濃く
シャープネス	好みの輪郭にします。「☀明／☾暗選択」が「☾シアターウォーム」のときははたらきません。	やわらか ↔ くっきり
バックライト	画面の明るさを調節します。	暗く ↔ 明るく
オートピクチャー	画面全体の明るさが、映像にあわせて目にやさしい明るさに自動的に調節されます。「☀明／☾暗選択」が「☀ダイナミック」のときは働きません。	切り、入り
インテリジェントガンマ	明るい映像も暗い映像も、質感を保ちながら鮮やかに再現します。	切り、入り
ノイズクリア	画面のざらつきが少なくなるように調節します。	切り、弱い、強い、自動
MPEG NR	MPEG画像のノイズ(モスキートノイズ、デジタル入力時のブロックノイズ)を減らします。	切り、入り
DCC(DETカラークリエーション)	くすんだ色を自然な色調に補正します。	標準、弱い
色温度	画面の色調を選びます。	高い色温度(青が強い)、低い色温度(赤が強い)
シアタープロ設定	さらに細かい映像の調節をします。「☀明／☾暗選択」が「☾シアターウォーム」のときのみ調節できます。	
DSDエッジ	映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。	−(輪郭をつけない) ↔ ＋(輪郭をつける)
Hシャープネス Vシャープネス	輪郭を強調してはっきりとした映像にします。(交互に調節)	−(輪郭を強調しない) ↔ ＋(輪郭を強調する)
DSDコアリング	画面のざらざら感(ノイズ)を抑えます。	−(あまりノイズを除去しない) ↔ ＋(よりノイズを除去する)
色温度 赤 色温度 青 色温度 緑	画面全体の色(赤味、青味、緑味)を交互に調節します。	−(赤を弱くする) ↔ ＋(赤を強くする) −(青を弱くする) ↔ ＋(青を強くする) −(緑を弱くする) ↔ ＋(緑を強くする)
色バランス	肌色以外の色が自然な色になるように青みを調節します。	−(青みを弱くする) ↔ ＋(青みを強くする)

	DCCが「標準」のときは、DETカラークリエーションでさらに細かく設定できます。
DCC赤色・黄色・緑色・水色色選択	DCCで補正する色を選びます。
DCC赤色・黄色・緑色・水色色あい	「DCC色選択」で指定した色の色あいを調節します。
DCC赤色・黄色・緑色・水色色の濃さ	「DCC色選択」で指定した色の濃さを調節します。
明部:色の濃さ	黄色や緑色などの明るさ成分の高い色の濃さを調節します。
暗部:色の濃さ	赤色や青色などの明るさ成分の低い色の濃さを調節します。
シアタープロ設定を標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。
映像調節を標準に戻す	「☀明／☽暗選択」で選んでいる画質を、お買い上げ時の設定に戻します。

マックスオーディオ　「☀明／☽暗選択」の現在の設定について以下のような音質の調節ができます。

マックスベース	低音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックストレブル	高音の強さを調節します。	弱く ↔ 強く
マックスステレオ	臨場感を調節します。	音場を弱める ↔ 音場を強める
マックスボリューム	音量のばらつきを低減します。	切り、入り
バランス	左右の音量を調節します。	左側が大きく ↔ 右側が大きく
標準に戻す	お買い上げ時の設定に戻します。	

マックスオーディオの効果	マックスオーディオの機能を使うかどうかを設定します。	切り、入り

省エネ設定

404

E.E.センサー	部屋の明るさに合わせて、画面の明るさが自動的に調節されます。	切り、入り
無信号電源オートオフ	放送終了後やビデオの再生終了後、約4分経過すると自動的に電源が切れるように設定します。デジタル放送をご覧のときは働きません。	切り、入り
テレビ消し忘れ防止設定	何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れるように設定します。	切り、入り
エコセンサーの効果表示	オートピクチャー(➔ **38**ページ)とE.E.センサーの効果のレベルを星マークでテレビ画面に表示します。(➔ **29**ページ)	切り、入り

各種設定

405

画面位置の調整		画面の上下左右の位置を調節します。	**▲▼◀▶ボタン**で調節する
画面サイズ		映像を表示する画面サイズを選びます。(➔ 27ページ)	フル、パノラマズーム1、パノラマズーム2、ノーマル、パノラマ、字幕パノラマ、シネマ
ナチュラルシネマ		フィルム撮影された映画などを、動きの速いところもぼんやり感のない映像で表示します。	切り、入り、自動
外部映像入力設定		外部入力端子につないだ機器の入力表示を設定します。	
	設定する入力	設定を変更する外部入力名を選びます。	ビデオ1～3、HDMI1～3
	画面の表示	画面に表示される外部入力名を選びます。	ビデオ1～3、HDMI1～3、VTR、DVD、DVR1、DVR2、HDR、ムービー、CSデジタル、ゲーム
	入力スキップ設定	リモコンの**入力切換ボタン**でその外部入力を選べるようにするかしないかを設定します。	見る、見ない
ビデオ入力接続設定		HDMIで接続した機器の入力設定をします。	
	HDMI音声入力	HDMI接続した機器の音声信号の種類を選びます。	デジタル、アナログ、自動
	HDMI入力VGA判別	HDMI接続した機器の画面サイズを自動で判別するかVGAに固定するかを設定します。	自動、VGA
ビデオ1入力のモニター出力		ビデオ1入力の映像が乱れるときに、ビデオ1入力端子からの信号をモニター出力しないように設定します。	切り、入り
倍速120コマ		倍速120コマ（残像を低減して画像をくっきりさせます）の自動デモを設定します。	デモ解除、デモ設定

初期設定

408

■ 地上アナログ

地域チャンネル合わせ		お住まいの地域で受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。	
チャンネルの設定		1～12の**数字ボタン**ごとに、見るチャンネルを設定します。	
	見るチャンネル	**数字ボタン**を押したときに受信するチャンネルを設定します。	1～62、C13～C38
	画面の表示	選局時の画面表示の設定をします。	1～62、C13～C38
	+－ボタン選局	空きチャンネルを**チャンネル+/－ボタン**で選べないようにする設定（チャンネルスキップ）をします。	見る、スキップ
	受像微調整画面へ	映像がもっともきれいになるように調整します。	
CATV選局方式の設定		CATVをご覧になるときに設定します。チャンネル番号を直接入力して選局できます。	12ボタン方式、数字入力方式

CATVチャンネルの設定変更	CATVのチャンネル設定を変更します。選局方式で、「数字入力方式」を選んでいるときに設定します。	「設定するチャンネル」、「＋－ボタン選局」、「受像微調整画面へ」
放送局名設定	番組表を表示するために、放送局名を設定します。	

■ 地上デジタル

地域設定	お住まいの地域の情報を受信するための設定をします。
チャンネルスキャン	お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。引っ越したとき、新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変わったときに行います。
チャンネルの設定	**数字ボタン**で選べる受信チャンネルを変更したり、空きチャンネルに受信できるチャンネルを割り当てたりすることができます。
アンテナの設定	地上デジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は50以上です。

■ BS/CSデジタル

アンテナの設定		衛星アンテナへの電源供給をするかしないかを設定します。 BS/CSデジタル放送のアンテナ受信レベルが確認できます。良好に受信するための受信レベルの目安は45以上です。	する(個別)、しない(共聴)
番組表の設定		番組表を受信するための放送局を設定します。	
	受信チャンネル	番組表を受信する放送局が表示されます。	
	Gガイド受信地域の設定	お住まいの地域に合わせて、番組表に表示する放送局を設定します。	
	Gガイド受信確認	番組データを受信する時刻を確認できます。BS・110度CSデジタルアンテナが接続されていないとデータが受信できません。	
BS選局ガイドチャンネルの設定 CS選局ガイドチャンネルの設定		リモコンの**数字ボタン**で選局できる衛星デジタル放送のチャンネルを設定します。	登録したいリモコン番号と、登録するチャンネル番号を▲▼◄►**ボタン**で選んで設定する
衛星情報の設定		デジタル放送局から電波を受信するための設定をします。	BS:15、CS1:2、CS2:4 通常は変更しないでください

■ デジタル放送共通

年齢による視聴制限の設定	年齢による視聴制限を設定します。 視聴年齢を設定すると、制限の対象になる番組は、暗証番号を入力しない限り視聴することはできません。	1歳 ～19歳、制限なし
お知らせ音の設定	お知らせ音の音量を設定します。	なし、あり:音量小、あり:音量大
暗証番号の設定	視聴制限を設定・解除するための暗証番号を登録・変更します。	4ケタの暗証番号を入力する
B-CASカード番号の表示	カスタマーセンターへ問い合わせる際など、B-CASカードの番号などを調べる必要があるときに、B-CASカードの情報を確認できます。	
自動ダウンロードの設定	機能の追加やサービスへの対応のためのプログラムのダウンロードを自動で行うかどうかを設定します。	する、しない

映像出力端子の設定		本機の映像出力端子から出力される映像信号のサイズを設定します。	テレビ用、ワイドテレビ用
光デジタル音声出力の設定		接続している機器に合わせて、光デジタル音声信号の種類を設定します。	2CH リニアPCM、AAC
文字スーパーの設定		速報ニュースなどを表示するための文字スーパー表示の有無や、表示言語を選びます。	日本語で表示、英語で表示、表示しない
県域の設定		お住まいの都道府県を設定します。	表示される都道府県名から選ぶ
郵便番号の設定		郵便番号を設定します。	**数字ボタン**で郵便番号を入力する
電話の設定		電話回線の接続に関する設定をします。	
	電話回線の種類	電話回線の種類を設定します。(通常は「自動」に設定します)	自動、ダイヤル回線(10PPS)、ダイヤル回線(20PPS)、プッシュ回線
	外線発信番号の設定	外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。	外線発信番号を入力して設定する
	ダイヤルポーズの設定	外線発信番号を出力後の、休止時間挿入を設定します。	する、しない
	ダイヤルトーン検出の設定	電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。	する、しない
	B-CASセンター接続の設定	B-CASカード情報や有料番組購入情報などの、センターへの自動送信を設定します。	自動、切り
	番号通知の設定	電話番号の通知を設定します。	なし、通知する、通知しない
	電話会社の設定	接続する電話会社を設定します。	マイラインプラスの加入、電話会社の番号を設定する
	電話のテスト	電話回線が正しく設定されているかテストします。	
	終了	電話の設定を終了します。	
起動優先の設定		起動時間が短くなる設定をします。	切り、入り
設定のリセット		各種調整・設定値を工場出荷時の設定に戻します。また、個人情報を消去します。	
	設定項目リセット	各種調整・設定値を工場出荷状態に戻します。	
	個人情報消去	本機を初期化して、本機に記録されている視聴履歴などの個人情報をすべて消します。	

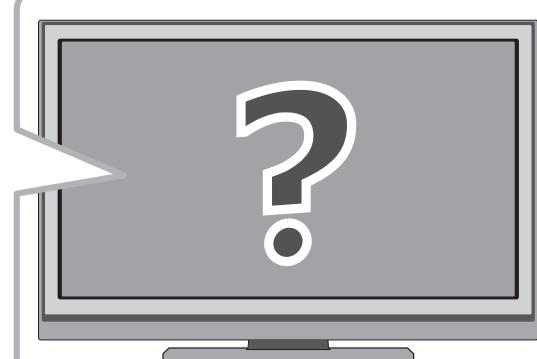
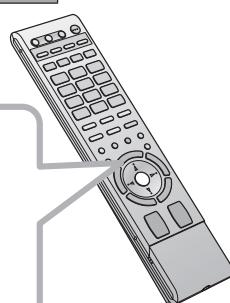
■ ネットワーク

接続設定		ネットワークへの接続に関する設定や、ネットワークの接続テストをします。	
	IPアドレスの自動取得	IPアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得」を選んでください。	
	DNSアドレスの自動取得	DNSアドレスを自動取得するか、手入力するか設定します。通常は「自動取得」を選んでください。	
	プロキシサーバーの設定	プロキシサーバーを使用するかどうか設定します。プロバイダーから指定があったときのみ、設定をしてください。	
文字入力方式の設定		アクトビラでの文字の入力方式を設定します。	キーボード方式、携帯電話方式

はじめる 楽しむ 知る

知る

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは故障ではありません

■ 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

■ 静止画を表示し続けたときに、画面に残像が生じることがあります。残像はしばらくすると消えます。

■ 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。

・ ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
・ 本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
・ 本機から「ミシッ」という音がする場合。
・ 本体の内部から動作音が聞こえる場合。

■ 本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。

1 本体の**チャンネルー（マイナス）ボタン**と**入力切換ボタン**を同時に5秒以上押し続ける。
電源が切れ、電源/機能待機ランプが消えます。

2 本体の**電源ボタン**を押して電源を入れ直す。

※電源/機能待機ランプが赤く点灯しているときは、この操作はできません。

放送の受信

地上アナログ放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
アンテナをUHF/VHFアンテナ入力端子に正しく接続する。	16	260
チャンネル設定を正しく設定する。	40	411
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	40	013

地上アナログ放送のチャンネルが番組表に表示されない	取扱説明書	お助けガイド
「地上アナログ」設定で「放送局名設定」を正しく設定する。 ・番組表には「地域設定」で選んでいる地域の地上アナログチャンネルが表示されます。地域の境界では番組表には表示されないチャンネルがある場合があります。	40	015

CATVが映らない	取扱説明書	お助けガイド
受信契約をする。	–	–
ケーブルを正しく接続する。	–	–
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	40	413
「CATV選局方式の設定」を「数字入力方式」にする。 ・「CATV選局方式の設定」が「12ボタン方式」の場合、CATVのチャンネル(C13～C38)は**チャンネル+/－ボタン**では選べません。	40	005

地上デジタル放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
アンテナを地上デジタルアンテナ入力に正しく接続する。	16	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	23	001
簡単設定ウィザードを実行する。	24	004
受信レベルを確認する。	41	006
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–	–

衛星デジタル放送が映らない	取扱説明書	お助けガイド
受信契約をする。	–	–
アンテナをBS・110度CSアンテナ入力端子に正しく接続する。	16	260
正しい向きでB-CASカードを入れる。	23	001
簡単設定ウィザードを実行する。	24	004
衛星アンテナへの電源供給を正しく設定する。	41	002
アンテナの前方にある障害物を取り除く。 ・大雨や雪が降っている場合でも、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。	–	–
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–	–

データ放送の一部を見ることができない	取扱説明書	お助けガイド
「ネットワーク」の設定を確認してください。	42	192

取扱説明書アイコン	この取扱説明書のページ番号
お助けガイドアイコン	お助けガイドのページ番号

画面表示/映像

画面が乱れる/映像に縦線や横線が出る	取扱説明書	お助けガイド
アンテナケーブルを他の機器やケーブルから離してください。	–	–

画面表示が消えない	取扱説明書	お助けガイド
受信できるチャンネルを選ぶ。	26	032 034 035 036
外部機器の映像を再生する。 ・入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。	27	165

メニュー操作時などにオンエアボタンを押すと、外部入力の映像ではなく、テレビ放送に切り換わる	取扱説明書	お助けガイド
メニュー画面や設定画面が消えるまで、**戻るボタン**をくり返し押す。 ・**オンエアボタン**を押した場合は、**入力切換ボタン**を押して見たい外部入力を選んでください。	37	–

「高速液晶」のデモが自動的にはじまる	取扱説明書	お助けガイド
「倍速120コマ」の設定を「デモ解除」にする。	40	279

2画面にならない	取扱説明書	お助けガイド
下記の場合は2画面にはできません。 ・左右の画面にデジタル放送の映像を映そうとした場合。 ・左右の画面に同じチャンネルや外部入力の映像を映そうとした場合。	29	040

色が出ない、おかしい	取扱説明書	お助けガイド
地上アナログ放送の場合は、「チャンネルの設定」で受信周波数を微調整する。	40	007
映像調節メニューで「色あい」や「色の濃さ」を調節する。	38	074

接続したAV機器からの映像が出ない	取扱説明書	お助けガイド
正しい外部入力を選ぶ。	27	165
AV機器を正しく接続する。	18–20	158 245 256 170 167 171
AV機器の電源を入れ、映像を再生する。	–	–
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	–	–

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)	取扱説明書	お助けガイド
屋外のアンテナ線をつなぎ直す。	16	260
アンテナの向きを直す。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–

画面にはん点が出る(妨害)	取扱説明書	お助けガイド
ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–

画面にしま模様が出る(混信)	取扱説明書	お助けガイド
無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–	–

この取扱説明書のページ番号
お助けガイドのページ番号

音声

音が出ない	取扱説明書	お助けガイド
ヘッドホン端子からヘッドホンを抜く。	36	–
消音ボタンを押す。	26	019
音声が重なって聞こえる		
二重音声放送の音声を「主音声」または、「副音声」に切り換える。	28	112
映像の動きと音声が合わない		
「ゆっくりトーク」を「切り」に設定する。	28	114
音声が切り換えられない		
下記の場合は音声を切り換えられません。 ・地上アナログ放送で、モノラル放送やステレオ放送の場合。 ・デジタル放送で、音声多重や複数の音声信号がない番組の場合。 ・外部入力の映像の場合。 ・「ゆっくりトーク」を「ゆっくり」または「もっとゆっくり」に設定している場合。	–	–

接続したAV機器からの音声が出ない	取扱説明書	お助けガイド
正しい外部入力を選ぶ。	27	165
AV機器を正しく接続する。	18–20	158 245 256 170 167 171
AV機器の電源を入れる。	–	–
アンプの音量を0以外または消音以外にする。	–	–
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	–	–
HDMI接続の場合、「ビデオ入力接続設定」を正しく設定する。	40	174 175
・HDMI端子の音声入力、またはDVI音声端子からの入力信号はモニター出力端子からは出力されません。	–	229
・本機のHDMI入力端子はドルビーデジタル方式の信号には対応していません。お使いの出力機器側の設定を「2CH PCM」に設定してください。(ドルビーデジタル方式の信号はLAN端子経由のDLNA機器からの信号にのみ対応します。)	–	–
音声が、接続していないスピーカーから聞こえる		
ビデオ入力の音声コードを正しく接続してください。	20	158 171 170 167

取扱説明書アイコン	この取扱説明書のページ番号
お助けガイドアイコン	お助けガイドのページ番号

ネットワーク

インターネットに接続できない		
ネットワーク(LANの設定、ブラウザの設定)を正しく設定する。	42	192
ブロードバンド環境でインターネットに接続する。	–	–
ブロードバンドルーターやハブ、ADSLモデムなどの設定を確認する。	–	–
・当社のアクトビラサポートホームページでも情報を提示しております。http://www.jvc-victor.co.jp/support/tv/tnavi/index.html	–	–

その他

チャンネルを選ぶときの動作がおかしい		
CATVをご覧にならないときは「CATV選局方式の設定」を「12ボタン方式」にする。 ・「数字入力方式」に設定されている場合、**数字ボタン**で直接選局することはできません。	40	005
衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった		
電話回線の接続や設定を確認する。	22 42	261 417
電源を「切」にしたのに電源/機能待機ランプが赤く点灯している		
下記の場合は電源/機能待機ランプが赤く点灯します。 ・番組表のデータを取得している場合。 ・「起動優先の設定」を「入り」に設定している場合。	15 42	258 162
SDカードの画像が再生できない		
本機で再生できる画像データを記録する。	–	119
外部入力が選べない		
「外部映像入力設定」の「入力スキップ設定」を「見る」に設定する。	40	169
突然電源が切れた		
オフタイマーか「テレビ消し忘れ防止」を設定していた場合、自動的に電源が切れます。	28 39	023 138
放送終了後に電源が切れたときは、「無信号電源オートオフ」機能が働いたためです。	39	139
テレビの中から「カチッ」と音がする		
番組表などの情報を取得するために内部の回路が自動的に動作する音です。	–	–

この取扱説明書のページ番号
お助けガイドのページ番号

DLNA機器について

本機は、DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器(サーバー)に記録された、静止画および映像を楽しめます。

接続対象機器

DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器

- DLNAガイドラインに対応した機器は下記のホームページでご確認いただけます。
  http://product.dlna.org/jp/

ネットワーク機器(サーバー)について

ネットワーク機器(サーバー)の種類によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合もあります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク機器でファイアウォールが設定されている場合にはネットワーク機能が使えない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書をご覧のうえ、必要な設定変更をしてください。

再生対象ファイル形式について

ネットワーク機器(サーバー)から送られるファイル形式が下記に該当するファイルを再生できます。ネットワーク機器(サーバー)によっては、ファイル形式を変換して送ります。その場合、変換されたあとのファイル形式が対象となります。詳しくは、ネットワーク機器(サーバー)の取扱説明書をご覧ください。

静止画

JPEG形式

JPEG_SM	640×480ドット以下
JPEG_MED	1024×768ドット以下
JPEG_LRG	4096×4096ドット以下のプロファイルに対応

- ただし、全て1024×768以下で表示されます。
- JPEG_LRGのプログレッシブは再生できません。

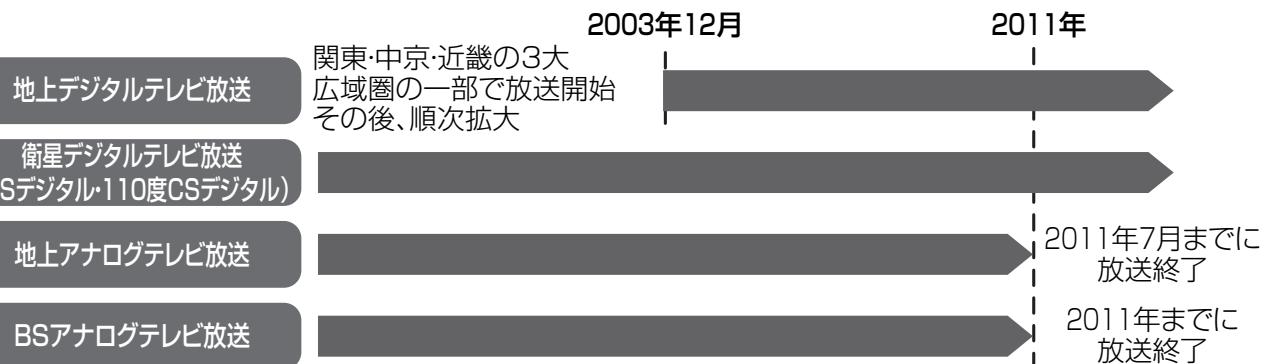
映像

MPEG2形式(DVD-VR(NTSC)準拠)

- 上記のファイル形式でも、一部再生できない場合があります。

はじめる 楽しむ 知る 故障かな？と思ったら

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

こんなメッセージが出たら

本機は、お使いの状況に合わせてメッセージを表示します。以下は主なメッセージとその対処方法です。表示されたときは、「こうしてください」欄をご確認いただき、正しくお使いください。
メッセージ番号は、エラーの内容に応じて表示されます。

画面メッセージ	こうしてください	📖i	🖥
アンテナやケーブルがショートしています。アンテナとケーブルの接続をご確認ください。	アンテナを正しく接続･設定する。	16	260
放送チャンネルではないため、視聴できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・放送されていないチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
現在放送されていません。別のチャンネルを選んでください。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・放送休止中のチャンネルを選んでいる場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
信号が受信できません。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	16	260
降雨などによる電波障害のため、自動的に降雨対応画面に切り換えています。	受信できるチャンネルに切り換える。 ・雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	26 27	032 034 035 036
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	16	260
SDカードが挿入されていません。	SDメモリーカードを挿入してから、**SDカードボタン**を押す。	35	119
時刻情報が取得できていないため、この機能は利用できません。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16 40	260 414 415
必要な情報が取得できませんでした。	デジタル放送のアンテナ接続と設定を行なってください。	16 40	260 414 415

お助けガイドの項目一覧

解説ページを直接指定する ➔ 7ページ

お助けガイドの使いかた

準備･接続

チャンネル設定

見る

はじめる 楽しむ 知る

いろいろな機能

番組表・予約

アクトビラ

設定

こんなときは

解説を読もう

はじめる
楽しむ
知る

主な仕様

システム

● 受信方式　NTSC(VHF/UHF/CATV)

● 受信チャンネル
VHF 1～12、UHF 13～62、CATV C13～C38
地上デジタル放送のチャンネルに対応　000～999
BSデジタル放送のチャンネルに対応　000～999
110度CSデジタル放送のチャンネルに対応 000～999
・CATVパススルー(全帯域)に対応

● 画面寸法(幅×高さ×対角)
LT-37LC205(37V型)
82.2 cm × 46.3 cm × 94.0 cm
LT-32LC205(32V型)
70.0 cm × 39.4 cm × 81.3 cm

● 表示画素数　水平:1366 垂直:768

● スピーカー
LT-37LC205:　4 cm×16 cm、2個
LT-32LC205:　5 cm×12 cm、2個

● 音声出力　10 W + 10 W

電源部

● 使用電源　AC 100 V、50/60 Hz

● 消費電力
LT-37LC205:
① 187 W ② 0.2 W ③ 23 W ④ 162 kWh/年
LT-32LC205:
① 169 W ② 0.2 W ③ 23 W ④ 147 kWh/年
① 消費電力
② 待機時消費電力
③ BS・110度CSデジタルチューナー部動作時(機能待機時)(BS・110度CSコンバーター最大4Wを除く)
④ 年間消費電力量[スタンダード時]

● 区分名　BEE

入出力端子

● アンテナ端子
VHF/UHF: 75Ω、F型
地上デジタル: 75 Ω、F型 (CATV(VHF)も対応)
BS・110度CS: 75Ω、F型
(BS・110度CSコンバーター用電源DC15V 4W 重畳)

● ビデオ1、ビデオ2、ビデオ3入力端子
S1映像(S映像)(ビデオ3を除く):
Y: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
C: 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス

● ビデオ3コンポーネント映像入力端子
(1125i)
Y : 1 V(p-p)、75 Ω±20%
同期信号分±0.30 V(p-p)、3値同期
Pb 、Pr: ±0.35 V(p-p)、75 Ω±20%
(750p/525p/525i)
Y : 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
Cb 、Cr: 0.7 V(p-p)、75 Ω±20%

● D4映像入力(ビデオ1)端子映像: D端子(D4)

● HDMI1、HDMI2、HDMI3入力端子
HDCP対応映像:1125i/750p/525p/525i
音声:2CH PCM

● HDMI 接続用 アナログ音声入力端子
音声: 0.5 V(rms)、ハイインピーダンス

● モニター出力端子
S1映像: Y 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
C: 0.286 V(p-p) (バースト信号)、75 Ω
映像: 1 V(p-p)、75 Ω、同期負
音声: 0.5 V(rms)、ローインピーダンス

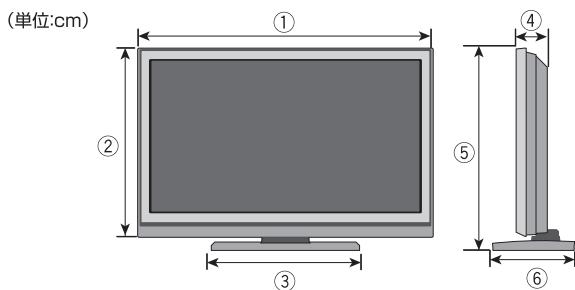
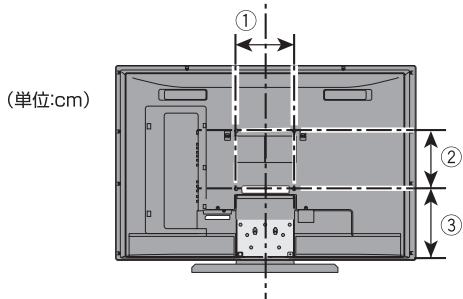
● 光デジタル音声出力端子　–18 dBm、660 nm
メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力

● 電話回線端子 2Pモジュラージャック、
モデム伝送レート 2400 bps

● ヘッドホン端子
直径 3.5 mm、ステレオミニジャック

● LAN端子(10BASE-T / 100BASE-TX端子)

外形寸法・その他

LT-37LC205: ① 91.9 ② 60.4 ③ 49.6
④ 12.1 ⑤ 65.2 ⑥ 31.2
LT-32LC205: ① 80.0 ② 54.5 ③ 41.0
④ 13.1 ⑤ 59.2 ⑥ 24.4

● 壁掛け金具の取り付け孔位置
LT-37LC205: ① 20.0 ② 20.0 ③ 21.7
LT-32LC205: ① 20.0 ② 20.0 ③ 18.1

● 画面角度の調節範囲
左右各20度

● 質量
LT-37LC205: 22.9 kg
LT-32LC205: 16.7 kg

● 付属品 14ページ参照

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ テレビのV型(37V型、32V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
※ 電源を切っていても番組表データが取得できるまでは、機能待機時と同様の消費電力となります。
※ 年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
※ 本機は「JIS C61000-3-2適合品」です。
※ 区分名とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)で、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社はカラーテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。（➔ 次ページ）

修理を依頼されるときは

44～50ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクター地上･BS･110度CSデジタル液晶テレビ
型　名	LT-37LC205/LT-32LC205
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	(　　)　　ー

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきまして、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.S.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027) 255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028) 635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029) 246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	ENGサポートセンター24 受付グループ	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区大成町4-503
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ケ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055) 227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025) 241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026) 221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市東区北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市六条北四丁目8-10 今尾ビル103号室
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市問屋町47番地市場ハイツA1F ウチノ電子株式会社内
大阪 奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.S.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 665-9601	徳島市川内町榎瀬673
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092) 707-0500	福岡市博多区沖浜町11番10号 サンイースト福岡1F
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.S.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0707

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

著作権

■ 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■ あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■ SDロゴは商標です。

■ DLNAおよびDLNA Certifiedは、Digital Living Network Allianceの商標です。

■ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

■ Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

■ 本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル(通話料金無料)でない限り、電話料金はお客様の負担になります。

■ 本機は電波産業界規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。

■ この製品に使用されているソフトウェアに関する情報については、メニューボタンを押して、「初期設定」→「デジタル放送共通設定」→「自動ダウンロードの設定」画面を表示中に黄色(情報表示)ボタンを押すと本機のソフトウエアに関する情報が表示されます。

■ 有料番組のなかには、その製作者によって「視聴すること」のみ許可されている場合があります。これらのプログラムは著作権保護されており、いかなる目的といえども、著作権者の文書による明示された許可がない限り、コピーまたは再生できません。

■ この製品には、株式会社リコーがデザイン製作した下記書体のリコーフォントを使用しています。
・平成丸ゴシック体TM-W4
・平成丸ゴシック体TM-W8
・平成角ゴシック体TM-W5
・Newゴシック体

■ マックスオーディオはWaves Audio LTD. の登録商標です。

・Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。

・Gガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。

・米 Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

■ This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■ お助けガイドは株式会社カナックから使いかたナビ®の技術供与を受けています。

■ 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2 AACに関する下記番号の特許(出願中も含む)を使用しています。

特許番号(出願番号)

5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189
5,357,594 5,752,225 5,394,473 5,583,962
5,274,740 5,633,981 5,297,236 4,914,701 5,235,671
07/640,550 5,579,430 98/03037 97/02875
97/02874 98/03036 5,227,788 5,285,498
5,481,614 5,592,584 5,781,888 08/039,478
08/211,547 5,703,999 08/557,046 08/894,844
5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087 5,490,170
5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574
08/506,729 08/576,495 5,717,821 08/392,756

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や・ら・わ

J-Moss　グリーンマーク表示対象製品です

J-Mossとは電気・電子機器の特定化学物質の含有表示を規定するJIS規格で、グリーンマークは特定化学物質(鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE)を基準値以上含まないことを証明するものです。

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、56ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 **57ページをご覧ください。**	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話**　**(045) 450−8950** **FAX**　**(045) 450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0707HHH-MW-VP